

茅野房次郎 (千葉) 古増 安(神奈川) 上野政治 (栃木) 鈴木重彦(鹿兒島)

明治三十九年七月第七回卒業生 (二十一人) (いろは順)

×生田 耕 (新潟) ×本多辰三郎 (東京) 中城正亮 (高知) 由月義一 (兵庫)

石井儀平 (長野) 東條義一 (東京) 山崎重次 (島根) 戸田守一 (宮城)

×服部邦久 (長崎) 友田久雄 (兵庫) 松岡貞真 (兵庫) ×鈴木已之作 (栃木)

早川正雄 (長野) 川井光太郎 (千葉) 松本隆助 (埼玉) 益田謙吉 (東京)

西尾廣司 (奈良) ×加藤 節 (茨城) 小沼信造 (東京)

西川有味三 (熊本) ×中村梅吉 (高知)

選科修了生 (四人) (いろは順)

穂積秀範 (三重) 種子田 實(鹿兒島) 成澤直亮 (長野) 三橋政門(北海道)

明治四十年三月第八回卒業生 (二十七人) (いろは順)

伊原平之助 (島根) ×長 誠一 (福岡) 武智俊道 (鳥取) 上杉謙一 (東京)

泉 田 寧 (福島) 川村小三郎 (宮城) 鶴見治世 (長野) 山田 清 (東京)

石井恒次郎 (東京) 吉 雄 豊 (大分) 永原正雄 (静岡) 山崎大八 (東京)

春田真一 (徳島) 吉 田 彝 (兵庫) 村井舜造 (山口) 藤谷三鷹 (滋賀)

×遠山亮吉 (長野) 高 木 深 (東京) 上谷庫平 (兵庫) 後藤 愛 (東京)

近藤祿之甫 (山梨) 清野惣吉 (新潟) 廣本光治 (兵庫) 杉浦直吉 (東京)

×相 良 經 豊(鹿兒島) 島田千代治 (山梨) 平田恒太郎 (東京)

選科修了生 (三人) (いろは順)

×瀧田幸之助(鹿兒島) 藤澤悌二郎 (石川) 有南宇兵衛(和歌山)

明治四十一年三月第九回卒業生 (十七人) (いろは順)

林 政 藏 (大阪) 藤 森 勇 (長野) 木村愛香 (東京) 守屋禮三 (岡山)

金丸六也 (宮崎) 小林嘉貞 (山梨) 水谷岩三郎 (新潟) ×杉 秀 雄 (福岡)

袖山貞雄 (島根) 小林陽之介 (東京) 芝 文 雄 (愛媛) 平田欣爾(神奈川)

津村精太郎 (福岡) 小谷綱吉 (愛知) 森 善 吉 (宮城)

久志本 鐵之祐 (三重) 酒井清兵衛 (岐阜)

明治四十二年三月第十回卒業生 (二十人) (いろは順)

伊 藤 基 光 (愛知) 河喜多英二 (福岡) 長 畑 桂 藏 (福岡) 藤 澤 正 雄 (石川)

×本間光民 (新潟) ×柏崎郁三郎 (栃木) 大庭孝道(鹿兒島) ×寺田業也 (新潟)

小川逸郎 (東京) 吉村芳一 (山口) 黒川直枝 (島根) 荒井永代(神奈川)

小澤善兵衛 (福岡) ×高橋源二 (福岡) 倉田誠一郎 (福島) 佐藤文兒 (宮城)

川保義重 (群馬) 副島國雄 (長崎) 山口 碩 平 (愛知) 白 川 功 (長野)

明治四十三年三月第十一回卒業生

(二十四人)

(いろは順)

- |           |            |           |            |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 石堂重徳 (滋賀) | 門屋誠 (山形)   | 納富準一 (佐賀) | 天津莊一 (東京)  |
| 飯塚千代 (茨城) | 高橋隆司 (千葉)  | 梅宮源一 (福島) | 安藤千代吉 (千葉) |
| 西村雅義 (愛知) | 高木銚鋪 (愛知)  | 大塚彌 (茨城)  | 佐倉毅一 (東京)  |
| 渡邊徳太 (熊本) | 武田秀三 (高知)  | 大鹽忠夫 (栃木) | 重田金輔 (山口)  |
| 渡部誠 (島根)  | ×中村常彦 (茨城) | 古屋諦道 (福岡) | 望月陽 (静岡)   |
| 渡邊昇吾 (千葉) | 中野高一 (佐賀)  | 近藤亮 (東京)  | 森本滋枝 (鳥取)  |

選科修了生 (二人)

(いろは順)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 長谷川賢 (茨城) | 上野賢一 (長崎) |
|-----------|-----------|

明治四十四年三月第十二回卒業生

(二十三人)

(成績順)

- |            |             |            |            |
|------------|-------------|------------|------------|
| 土屋彦俊 (千葉)  | 五十嵐禎三 (新潟)  | 高野猛 (茨城)   | 齋藤仁吉 (福島)  |
| 加藤鎌三郎 (愛知) | ×杉浦胤治 (愛知)  | 齋藤英一 (長崎)  | 住吉真人 (福島)  |
| 田村愛 (鳥取)   | 遠藤憲治郎 (三重)  | 杉山大吉 (静岡)  | 清水龜之助 (三重) |
| 小野澤三郎 (静岡) | 矢野藤助 (栃木)   | 並木武雄 (北海道) | 海保文吉 (千葉)  |
| 茂串元次 (栃木)  | 玉置萬壽二 (和歌山) | 大地亮平 (千葉)  | ×高橋四郎 (福岡) |
| 高田真助 (東京)  | 齋藤申七 (宮城)   | 宮島鹿雄 (佐賀)  |            |

明治四十五年三月第十三回卒業生

(二十一人)

(成績順)

- |            |           |            |            |
|------------|-----------|------------|------------|
| 佐藤留雄 (岩手)  | 藤江憲造 (東京) | 小倉達二 (東京)  | 米田祐太郎 (東京) |
| 秩父固太郎 (東京) | 附柴宇一 (愛知) | 武田寧信 (千葉)  | 山崎英雄 (茨城)  |
| ×青山殖 (埼玉)  | 星澤研壽 (宮城) | 大草虎尾 (長野)  | 恩田忠次 (東京)  |
| 金田宗次 (岡山)  | 小貫健 (茨城)  | 仲永正秀 (沖繩)  |            |
| 渡會貞輔 (山形)  | 山本惣治 (新潟) | 横關直一 (徳島)  |            |
| 天野真文 (東京)  | 荒基 (北海道)  | 高木富三郎 (京都) |            |
- 
- |            |            |            |         |
|------------|------------|------------|---------|
| ×白田集助 (長野) | 小林徳太郎 (群馬) | 立林一衛 (京都)  | 林馨 (富山) |
| 藤原利明 (高知)  | 眞鍋潤 (香川)   | 土田樊吾 (茨城)  | 泉平 (佐賀) |
| 中谷俊作 (静岡)  | 梅原宗城 (茨城)  | 桑原善材 (福島)  |         |
| 田口國榮 (長崎)  | 廣瀬規矩治 (茨城) | 新谷峰五郎 (三重) |         |
- 
- |            |             |            |          |
|------------|-------------|------------|----------|
| ×村瀬 (神奈川)  | ×濱元松太郎 (富山) | 尾坂一佐 (岡山)  | 須藤登 (群馬) |
| 吉野近藏 (栃木)  | 宮脇賢之介 (兵庫)  | 村田廣舜 (兵庫)  |          |
| 堀内慶次 (東京)  | 内木壽滿治 (東京)  | ×志水士城 (大分) |          |
| ×入重柏卓 (岩手) | 小林精策 (東京)   | ×大塚定孝 (廣島) |          |

大正四年三月第十六回卒業生 (十六人)	伊藤爲雄 (東京)	尾關良輝 (岐阜)	服部隆造 (静岡)	角田不二男 (東京)
	飯田茂三郎 (千葉)	脇坂小一郎 (東京)	柿島保雄 (山梨)	×青柳眞正 (秋田)
	高井末彦 (島根)	阿部辰雄 (宮城)	大島讓次 (神奈川)	小林幸雄 (山梨)
	藤田好一 (兵庫)	倉野文雄 (徳島)	飯尾禎 (東京)	大島敬一 (東京)
大正五年三月第十七回卒業生 (二十人)	支倉平之丞 (宮城)	島崎謙吉 (富山)	×境邦男 (青森)	本田四郎 (長野)
	馬渡隆芳 (佐賀)	篠田保 (茨城)	川島善五 (山形)	宮崎英一 (新潟)
	松原梅吉 (富山)	川村重郎 (三重)	相山義男 (栃木)	杉田秀夫 (東京)
	宮脇勝太 (香川)	増澤近知 (大分)	今井信一郎 (長野)	里見良作 (宮城)
	道明輝 (東京)	井淵藤三郎 (和歌山)	小野田美良 (新潟)	一色龜之助 (三重)
大正六年三月第十八回卒業生 (十一人)	中島鐵次 (佐賀)	安間安五郎 (千葉)	櫻井徳兵衛 (宮城)	廣瀬憲三 (東京)
	吉成惠一 (徳島)	岩崎賢太郎 (埼玉)	笹沼鐵雄 (兵庫)	大津信行 (東京)
	龜山正夫 (廣島)	千頭豊 (高知)	片桐宇一 (栃木)	
選科修了生 (四人)	石垣里治 (宮城)	鈴木章一郎 (東京)	今野經徳 (宮城)	酒卷憲 (埼玉)
(成績順)				

大正七年三月第十九回卒業生 (三十一人)	上野丈夫 (福岡)	山根三男 (東京)	樋山順之助 (栃木)	×犬井三郎 (新潟)
	×若杉末弘 (熊本)	岩永徳一 (佐賀)	荻山貞一 (福井)	増村敬三 (新潟)
	中田謙二郎 (山梨)	杉本薫 (長野)	藤生安太郎 (佐賀)	宮下寅次郎 (兵庫)
	久保木昇 (福島)	高橋作治 (静岡)	横山涉 (廣島)	
	大西謙五郎 (三重)	作本友吉 (石川)	岩佐道之助 (新潟)	
	高田初雄 (福井)	嵐田善九郎 (山形)	加藤三男 (熊本)	
大正八年三月第二十回卒業生 (十八人)	小瀬一郎 (東京)	川村幸雄 (東京)	市川健太郎 (長野)	麻喜正吾 (宮城)
	清水元助 (大阪)	菊澤幸夫 (東京)	×宮川一齋 (神奈川)	高橋郁治 (千葉)
	杉武夫 (栃木)	村岡敦實 (佐賀)	田中一郎 (群馬)	町田萬二郎 (長野)
	鈴木友三 (茨城)	西田長康 (鳥取)	志摩喜一 (長野)	
	直川孝二郎 (和歌山)	飛永賢三 (新潟)	安原金男 (山形)	
選科修了生 (一人)	鹿島武任 (大分)			
大正九年三月第二十一回卒業生 (二十名)	×後藤文之允 (宮城)	平田徳次郎 (東京)	廣田福壽 (宮城)	伊賀音八 (福岡)
(ABC順)				

稻垣重義 (愛知)	永原輝雄 (東京)	關敬一郎 (福島)	瀧谷源四郎 (北海道)
伊東義助 (東京)	小原太三郎 (千葉)	柴野護夫 (新潟)	寺坂亮一 (岡山)
古閑元雄 (熊本)	齋藤吉之助 (福岡)	清水吉郎 (東京)	浦野靜枝 (群馬)
向井四郎 (福岡)	佐々木二三 (山口)	杉田正 (埼玉)	吉竹貞治 (兵庫)

大正十年三月第二十二回文科卒業生 (一人)

湯山昇 (愛知)

大正十年三月第二十二回貿易科卒業生 (廿五人)

(ABC順)

橋本義雄 (東京)	近藤幹 (埼玉)	野口良生 (福岡)	高木喜平治 (岡山)
平山貞齋 (栃木)	栗野鷹二 (静岡)	岡部計二 (富山)	田尻泰 (鹿児島)
市瀬八郎 (長野)	萬年清一 (静岡)	岡本巍 (東京)	土屋波平 (山梨)
石井正隆 (福島)	松原久義 (愛媛)	大内義見 (宮城)	山崎信夫 (高知)
川口市次 (鹿児島)	中村俊夫 (新潟)	佐久間康治 (愛知)	
木下輝一 (新潟)	成瀬藤藏 (静岡)	鈴木甚助 (新潟)	
駒井巖 (山梨)	那須野秀 (福島)	田部井久彌 (栃木)	

大正十一年三月第二十三回貿易科卒業生 (二十九名)

(ABC順)

× 福田稔 (埼玉)

福島伊平 (群馬)

秦義雄 (福岡)

服部克己 (熊本)

引田哲一郎 (鳥取)	兒玉憲吉 (宮崎)	小田武夫 (新潟)	高世俊作 (神奈川)
廣川汕吉 (佐賀)	久住悌三 (埼玉)	岡崎英三郎 (岡山)	梅谷城雄 (静岡)
廣野益二郎 (京都)	三科政雄 (山梨)	尾島三郎 (栃木)	山本登 (愛媛)
堀内正名 (山梨)	三谷廣通 (島根)	大澤重英 (長野)	吉田祐造 (新潟)
伊藤正 (福島)	森脇國男 (大分)	太田致 (大分)	
笠三郎 (千葉)	× 野上楢義 (大分)	佐藤駒吉 (山形)	
川井秀夫 (山梨)	野村忠義 (石川)	鈴木要太郎 (千葉)	

大正十二年三月第二十四回文科卒業生 (一名)

北浦藤郎 (奈良)

大正十二年三月第二十四回貿易科卒業生 (十七名)

曳沼文五郎 (山形)	河内俊一 (兵庫)	桑名彌五郎 (高知)	中西林次郎 (愛知)
平井和夫 (大阪)	木田芳義 (滋賀)	松田光藏 (奈良)	小胎今朝治郎 (長野)
猪瀬五郎 (栃木)	木村義一 (神奈川)	松井一枝 (愛知)	進土敏雄 (静岡)
石田忠吉 (静岡)	小峰彌太郎 (神奈川)	武藤貞喜 (熊本)	田口武雄 (群馬)
			柳政次 (栃木)

大正十二年三月第二十四回拓殖科卒業生 (三名)

(ABC順)

福富七郎 (兵庫)

橋本峴 (兵庫)

石井晃 (福島)

蒙古語學科

大正三年三月第一回卒業生 (三人)

(成績順)

菊竹實藏(福岡) ×佐々木一郎(秋田) 佐藤富江(福島)

大正六年三月第二回卒業生 (七人)

(成績順)

三原増水(福岡) 大島清(佐賀) 三森七郎(福島) 佐々木孝三郎(宮城)

齋藤藤作(新潟) 鶴田米明(神奈川) 及川三男(宮城)

大正八年三月第三回卒業生 (九人)

(成績順)

松本軍三(栃木) 田口實(佐賀) 野口秋利(長崎)

五百木元(愛媛) 上野一耶(岡山) 金久一惠(徳島)

佐藤徳三郎(東京) 渡邊賢治(神奈川) 栗原悦司(群馬)

大正十年三月第四回貿易科卒業生 (四人)

(ABC順)

安藤松太郎(神奈川) 松尾佛次(東京) 中根直介(東京) 田村菅八(群馬)

暹羅語學科

大正三年三月第一回卒業生 (四人)

(成績順)

大河 蕭(京都) 服部繁松(静岡) 堀 亮一(和歌山) 池田林儀(秋田)

大正五年三月第二回卒業生 (四人)

(成績順)

佐藤致孝(東京) 鈴木清光(埼玉) 小倉 直(鹿兒島) ×石神正實(東京)

馬來語學科

大正三年三月第一回卒業生 (十人)

(成績順)

望月五一 (山梨) 鈴木一夫 (東京)

寺町文男 (東京)

別所直尋 (宮城)

岡村治 (靜岡) ×守田茂人 (福岡)

岡田丈夫 (神奈川)

高松正章 (東京) ×末廣義男 (岡山)

島山孝一 (山形)

大正五年三月第二回卒業生 (五人)

(成績順)

上原訓藏 (熊本) 日夏雅一 (東京)

永田源三郎 (福岡)

高田成義 (石川) 越智有 (愛媛)

大正七年三月第三回卒業生 (十人)

(成績順)

齋藤榮三郎 (新潟) 宮本純孝 (石川)

蘭田顯家 (山形)

小菅擴治 (東京)

土屋擴 (長野) 小笠原牧四郎 (福井)

竹内三郎 (東京)

篠田昌忠 (愛知) 篠原弘 (北海道)

原朝義 (山梨)

大正九年三月第四回卒業生 (十四人)

(ABC順)

赤岡孝雄 (長野) 三好俊吉郎 (福岡)

大山廣利 (鹿兒島)

渡邊敏治 (福島)

知念昌永 (沖繩) 森脇一美 (島根)

小澤顯夫 (山梨)

米村正二 (熊本)

花村馨 (廣島) 小田靜穗 (靜岡)

塚本五郎 (靜岡)

早川忍 (島根) ×大儀見正 (東京)

上野廣 (茨城)

大正十一年三月第五回貿易科卒業生 (五名)

(ABC順)

堀田操 (東京) 野澤佐助 (新潟)

關三千藏 (東京)

木藤重義 (鹿兒島) 岡本精一 (東京)

(五名)

大正十一年三月第五回拓殖科卒業生 (五名)

(ABC順)

藤掛藤吉 (栃木) 小林泰 (福岡)

山下九内 (滋賀)

加藤三郎 (宮城) 間宮直香 (兵庫)

(八名)

大正十二年三月第六回貿易科卒業生 (八名)

(ABC順)

青木直記 (栃木) 堀三郎 (大分)

大崎東平 (東京)

常吉春彦 (佐賀)

淺井久吾 (愛知) 神永千秋 (茨城)

寺田喜一 (熊本)

山本義一 (熊本)

大正十二年三月第六回拓殖科卒業生 (六名)

(ABC順)

藤田峻英 (福井) 中村誠 (茨城)

山崎享 (千葉)

鹿島文吉 (東京) 緒方隆造 (福岡)

吉川元 (東京)

ヒンドスタニー語學科

大正三年三月第一回卒業生 (四人) (成績順)  
 戸谷 貞雄 (東京) 小川 正 (静岡) 池田 辰夫 (東京) 高橋 温 (東京)

大正五年三月第二回卒業生 (五人) (成績順)  
 横地 憲和 (静岡) 安藤 芳平 (埼玉) 青木 保次郎 (東京)  
 乾 彦一 (京都) 水口 百龜 (神奈川)

大正七年三月第三回卒業生 (五人) (成績順)  
 高橋 盛雄 (廣島) 中山 活宗 (石川) 高瀬 篁一 (兵庫)  
 岡崎 洋 (島根) 佐々木 道綱 (三重)

大正九年三月第四回卒業生 (八人) (ABC順)  
 上村 吉太郎 (北海道) 三上 健三 (埼玉) 末岡 明治 (東京) 瀧島 千代雄 (埼玉)  
 荻田 博夫 (島根) 澤 英三 (新潟) 武川 安宅 (神奈川) 田中 五雄 (東京)

大正十一年三月第五回貿易科卒業生 (十一人) (ABC順)  
 江畑 誠一 (千葉) 井上 準 (鳥取) 大西 雅雄 (兵庫) 武田 幸太郎 (岡山)  
 飯田 四郎 (埼玉) 水野 松男 (埼玉) 佐野 一二三 (宮城) 谷田 具泰 (栃木)  
 飯泉 憲司 (埼玉) 長友 操 (宮崎) 高橋 定一郎 (東京)

大正十一年三月第五回拓殖科卒業生 (一人)

浦川 喜一 (大阪)

大正十二年三月第二十四回貿易科卒業生 (七名) (ABC順)  
 大島 鶴松 (福井) 飯野 茂司 (茨城) 神崎 加賀平 (香川) 竹内 眞喜恵 (東京)  
 蒲生 禮一 (島根) 石井 康考 (香川) 鈴木 信太郎 (愛知)

大正十二年三月第二十四回拓殖科卒業生 (四名) (ABC順)  
 小森 信 (岐阜) 清水 博 (静岡) 高岡 大輔 (新潟) 吉田 卯 (愛媛)

朝鮮語學科

(舊稱韓語學科 明治四十四年一月改稱)

明治三十三年七月第一回卒業生

(三人) (いろは順)

本田 存 (東京) 山口 有信 (愛知)

×重嶺 一祐 (山口)

明治三十四年七月第二回卒業生

(四人) (いろは順)

西田 禎一 (大分) 加藤 勝之助 (愛知)

江崎 精一 (愛知)

天野 雄之輔 (滋賀)

明治三十五年七月第三回卒業生

(九人) (いろは順)

伊東 四郎 (東京) 櫻 村 武 雄 (茨城)

山本 恒太郎 (東京)

石崎 資孝 (栃木) ×多 田 謙 三 (長野)

秋吉 英三 (東京)

×小野 雄志 (岡山) ×國 方 章 二 (香川)

木下 蕃 (福井)

選科修了生 (一人)

上田 順一郎 (京都)

明治三十六年七月第四回卒業生

(一人)

藤 戸 計 太 (長崎)

明治三十七年七月第五回卒業生

(三人) (いろは順)

本多 寛三 (福井) 河野 小七郎 (佐賀)

天 谷 操 (東京)

明治三十八年二月第六回卒業生

(六人) (いろは順)

堀 江 三 郎 (佐賀) 曲 主 馬 (福岡)

岸 本 徳 三 郎 (兵庫)

武 岡 卓 一 (兵庫) 天 海 良 之 (埼玉)

×末 永 健 一 (東京)

明治三十八年六月第六回卒業生

(二人) (いろは順)

村 上 安 造 (東京) 近 藤 信 一 (千葉)

明治三十八年七月第六回卒業生

(二人) (いろは順)

渡 邊 倉 藏 (福島) 島 田 慶 三 郎 (東京)

選科修了生 (一人)

中 島 直 吉 (静岡)

明治三十九年七月第七回卒業生

(十二人) (いろは順)

×岩 倉 一 (宮崎) 岡 崎 進 (高知)

井 手 貞 吉 (福岡)

堀 佐 太 郎 (大阪) 和 田 喜 一 郎 (京都)

大 久 保 清 (静岡)

遠 山 佑 吉 (東京) 玉 木 良 (山梨)

松 尾 辰 一 (佐賀)

選科修了生 (一人)

石 橋 義 雄 (神奈川)

明治四十年三月第八回卒業生

(十六人) (いろは順)

相 川 鑑 瑞 (石川)  
森 山 静 造 (東京)  
須 永 茂 平 (栃木)





選科修了生 (一人)  
村山正夫 (千葉)

大正六年三月第十七回卒業生 (七人)

(成績順)

鈴木伊佐勇 (福島)

島田一耶 (廣島)

柴田秀雄 (東京)

長野達 (東京)

上原保義 (東京)

筒井治明 (高知)

川尻忠 (秋田)

大正七年三月第十八回卒業生 (四人)

(成績順)

大竹晴雄 (福島)

油下恭之助 (茨城)

藤松常三郎 (佐賀)

武藤俊 (茨城)

本科卒業生職業別

(七月三十日調)

職業等	語學部										計		
	英	佛	獨	露	伊	西	葡	支那	蒙古	暹羅		馬來	印度
專門學校	一三	七	一〇	三	三	四	一	四	一	一	一	一	一
陸海軍諸學校	四	九	四	三				六					
中學	一六	二	三	六				一〇					
實業學校	七	五	四	六				六					
又小講習會校	一三	二	一	三				六					
內國官廳	一九	六	四	二	六			一					
大使館公使館		八	六	四				一					
領事館	三	一	二	一	四			一					
總督府都督府	三	一	三	一	一			一					
會社	一〇	四	九	二	七			一〇					
商店	二六	一七	二五	二	七			二六					
自家營業	六	一三	一八	九	六			一					
修學	三	八	三	三	四			七					
兵役	五	六	三	三	一			二					
死亡	七	六	三	三	六			二					
雜計	五四	一〇	一〇〇	四三	七〇	二六	七	四三	二	七	五七	四二	二七
計	二七六	一〇七	三〇三	一四三	二四〇	一〇九	一七	一五九	一七	一〇	一〇七	一〇〇	一〇〇

陸海軍委託選科修了生

(成績順)

英語學科

大正六年三月修了生

(五人)

海軍大尉 尾崎 主税 (東京)

陸軍歩兵中尉 荒井 榮之助 (福島)

陸軍歩兵中尉 吉本 萬壽藏 (和歌山)

陸軍歩兵中尉 川 清 (福岡)

陸軍二尉 村 嶋 (和歌山)

大正七年三月修了生

(四人)

陸軍工月館 善吉 (青森)

陸軍二尉 江口 盛一 (愛知)

陸軍歩兵中尉 村 次喜藏 (福岡)

陸軍砲兵中尉 木村 鼎 (島根)

大正八年三月修了生

(四人)

陸軍砲兵中尉 鍋島 陸郎 (東京)

陸軍歩兵中尉 江本 茂夫 (徳島)

陸軍歩兵中尉 竹中 英治 (東京)

陸軍騎兵中尉 角田 啓輔 (千葉)

大正九年三月修了生

(五人)

陸軍歩兵中尉 中島 敏男 (佐賀)

陸軍歩兵中尉 坂口 雅夫 (熊本)

陸軍歩兵中尉 坂田 徹治 (静岡)

陸軍二尉 主計 八木 光三 (兵庫)

陸軍中尉 重兵中尉 吉田 景三 (大阪)

大正十一年三月修了生

(二名)

陸軍歩兵中尉 人見 幹雄 (岡山)

陸軍砲兵中尉 村 浩 (廣島)

(ABC順)

大正十二年三月修了生

(五名)

(ABC順)

陸軍砲兵中尉 堀 等 (長崎)

海軍大尉 水野 恭助 (東京)

陸軍歩兵中尉 野間 賢之助 (岡山)

陸軍大尉 輜重 宮脇 襄二 (滋賀)

陸軍中尉 輜重 錦織 佛治 (秋田)

佛語學科

明治四十五年三月修了生 (二人)

海軍 櫻井 繁 (東京)

大正二年三月修了生 (一人)

計少監 長田 正義 (長野)

大正六年三月修了生 (三人)

陸軍歩 飯村 穰 (茨城)

大正七年三月修了生 (三人)

兵中尉 平賀 亨二 (山形)

大正八年三月修了生 (四人)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

大正九年三月修了生 (五人)

兵中尉 阿野 忠章 (山口)

兵中尉 系 雅 實 (埼玉)

大正十年三月修了者 (三人)

陸軍工 阿野 忠章 (山口)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

兵中尉 福澤 定和 (長野)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

陸軍砲 岡田 實 (鳥取)

獨語學科

大正六年三月修了生

(五人)

×陸軍歩高岡 貞 (熊本) 陸軍砲橋本 宗史 (大阪) 陸軍歩安藤 政保 (福島)  
兵中尉羽生 能敬(鹿兒島) 陸軍一等軍醫平井 正就 (東京)

大正七年三月修了生

(四人)

陸軍歩鈴木 春松(神奈川) 陸軍歩上村 幹男 (山口) 陸軍砲本間 德治 (山形) 陸軍歩遠山 登(神奈川)  
兵中尉鈴木 春松(神奈川) 兵中尉上村 幹男 (山口)

大正八年三月修了生

(四人)

陸軍歩岩崎 清海 (東京) 陸軍歩沖野 賢太郎 (愛媛) 陸軍歩稅所 基彦(鹿兒島) 陸軍歩佐古 龍祐 (山口)  
兵中尉岩崎 清海 (東京) 兵中尉沖野 賢太郎 (愛媛) 兵中尉稅所 基彦(鹿兒島)

大正九年三月修了生

(五人)

陸軍砲青柳 綠 (福島) 陸軍歩兒島 雅治 (岡山) 陸軍歩齋藤 彌 (宮城)  
兵中尉青柳 綠 (福島) 兵中尉兒島 雅治 (岡山) 兵中尉齋藤 彌 (宮城)

大正十年三月修了生

(四人)

陸軍歩三宅 貞彦 (岡山) 陸軍歩博 明 (愛媛) 陸軍歩亦藤 庄次 (兵庫) 陸軍歩牛島 正夫(神奈川)  
兵中尉三宅 貞彦 (岡山) 兵中尉博 明 (愛媛) 兵中尉亦藤 庄次 (兵庫) 兵中尉牛島 正夫(神奈川)

大正十一年三月修了生

(二名)

陸軍騎長友 次男 (宮崎) 陸軍歩湯淺 卓三 (京都)  
兵中尉長友 次男 (宮崎) 兵中尉湯淺 卓三 (京都)

大正十二年三月修了生

(四名)

陸軍砲神谷 修 (東京) 陸軍歩西垣 新七 (愛知) 陸軍騎山本 吉郎 (福岡)  
兵中尉神谷 修 (東京) 兵中尉西垣 新七 (愛知) 兵中尉山本 吉郎 (福岡)

陸軍歩中澤 三夫 (山梨)  
兵中尉中澤 三夫 (山梨)

露語學科

明治四十四年三月修了生 (一人)

海軍 岩田 秀雄 (東京)

大正六年三月修了生 (四人)

陸軍歩 山口 一郎 (青森) 陸軍歩 飯村 輔夫 (東京) 陸軍歩 安江 仙弘 (長野) 陸軍歩 越川 省吾 (千葉)

大正七年三月修了生 (三人)

陸軍工 須田 忠 (山梨) 陸軍歩 堀江 一正 (東京) 陸軍歩 石塚 喜助 (埼玉)

大正八年三月修了生 (一人)

陸軍歩 横田 次郎 (福島)

大正九年三月修了生 (二人) (ABC順)

陸軍歩 松坂 政孝 (東京) 陸軍歩 齋田 仙太郎 (東京)

大正十年三月修了生 (三人) (ABC順)

陸軍橋重 森本 覺 (兵庫) 陸軍二等主計 島 彰 (愛知) 陸軍歩 横井 忠道 (大分)

大正十一年三月修了生 (二名) (ABC順)

陸軍砲 竹尾 清澄 (東京) 陸軍歩 内田 與助 (埼玉)

大正十二年三月修了者 (三名)

陸軍歩 秋山 明治 (東京) 陸軍醫 長濱 彰 (埼玉) 陸軍歩 安木 幹太郎 (鳥取)

伊語學科

大正十一年三月修了者 (一名)

陸軍騎兵大尉 後藤 外馬 (滋賀)

西語學科

大正七年三月修了生 (一人)

陸軍歩兵大尉 藤谷 覺三郎 (滋賀)

大正九年三月修了生 (一人)

陸軍歩兵中尉 武藤 當次郎 (東京)

大正十一年三月修了者 (一名)

陸軍歩兵中尉 池上 克馬 (高知)

大正十二年三月修了者 (二名)

(ABC順)

陸軍歩兵中尉 青野 三郎 (茨城)

陸軍歩兵中尉 古西 秀次 (石川)

支那語學科

海軍 菊地豐吉 (福島) 明治四十四年三月修了生 (一人)

大正六年三月修了生 (五人)

海軍 大主計 林 復一 (和歌山) 陸軍 兵中尉 堀井 富太郎 (兵庫) × 陸軍 兵大尉 土田 俊太郎 (廣島)  
陸軍 兵中尉 金光 卓爾 (岡山) 陸軍 兵中尉 小西 康照 (香川)

大正七年三月修了生 (五人)

陸軍 兵大尉 田所 定右衛門 (和歌山) 陸軍 兵大尉 瀧川 正義 (和歌山) 陸軍 兵中尉 下 永憲次 (熊本)  
陸軍 兵中尉 島田 一 (東京) × 陸軍 兵中尉 松本 敏三 (兵庫)

大正八年三月修了生 (五人)

陸軍 兵中尉 本池 政敏 (鳥取) 陸軍 兵中尉 廣瀬 善三郎 (愛媛) 陸軍 兵中尉 織田 昌一 (山口)  
陸軍 兵中尉 直田 久太郎 (兵庫) 陸軍 兵中尉 土 正雄 (岡山)

大正九年三月修了生 (六人)

陸軍 兵中尉 石橋 鬼千與 (福島) 陸軍 兵中尉 大竹 菊三郎 (静岡) 陸軍 兵中尉 武田 一三 (兵庫)  
陸軍 兵中尉 松尾 勇太郎 (福岡) 陸軍 兵中尉 櫻庭 子耶 (青森) 陸軍 兵中尉 十時 和彦 (熊本)

大正十年三月修了者 (六人)

(ABC順)

陸軍 兵中尉 金澤 常雄 (熊本) 陸軍 兵中尉 齋藤 恭平 (新潟) 陸軍 兵中尉 柳浦 榮市 (島根)  
陸軍 兵中尉 權 寧漢 (朝鮮) 陸軍 兵中尉 田村 寛三 (東京) 陸軍 兵中尉 安永 篤次郎 (兵庫)

大正十一年三月修了者 (三名)

(ABC順)

陸軍 兵大尉 足達 貞記 (大分) 陸軍 兵中尉 森本 五郎 (佐賀) 陸軍 兵中尉 手塚 潤 (京都)

大正十二年三月修了者 (五名)

(ABC順)

陸軍 兵中尉 河田 六次郎 (岐阜) 陸軍 兵中尉 宮原 重種 (山口) 陸軍 兵大尉 宇多 佐助 (山口)  
陸軍 兵中尉 菊池 覺 (福岡) 陸軍 兵中尉 武澤 芳雄 (福井)



蒙古語學科

大正六年三月修了生 (一人)

陸軍歩兵大尉 鈴江萬太郎 (德島)

大正八年三月修了生 (一人)

陸軍歩兵中尉 宮本德一 (愛媛)

大正十年三月修了生 (三人)

陸軍歩兵中尉 益田政愛 (愛媛)

(ABC順)

陸軍歩兵中尉 平吾一 (山口)

陸軍歩兵中尉 武波恒太 (山口)

馬來語學科

大正九年三月修了生 (五人)

(ABC順)

陸軍歩兵中尉 長谷川佐市 (愛知)

陸軍歩兵中尉 井上美暢 (東京)

陸軍歩兵大尉 山本茂 (廣島)

陸軍歩兵中尉 平岡閔造 (廣島)

陸軍歩兵中尉 坂野博暉 (愛知)

大正十一年三月修了生 (二名) (ABC順)

陸軍砲兵大尉 間野一喜 (石川)

陸軍歩兵中尉 山本俊雄 (愛知)

大正十二年三月修了生 (二名) (ABC順)

陸軍輜重兵大尉 杉村飛車太郎 (群馬)

陸軍歩兵大尉 谷弘 (栃木)

陸海軍委託選科修了生

二二四

ヒンドスタニー語學科

大正十一年三月修了者 (一名)

陸軍歩兵中尉 黒田保太郎 (東京)

朝鮮語學科

明治四十四年三月修了生 (二人)

海軍主計中監 木下國明 (長野)

陸海軍委託選科修了生

二二五

陸海軍委託選科第二學年修業生

(成績順)

英語學科

少海軍	鈴木秀次 (愛媛)	×海軍	大佐	三宅大太郎 (東京)	大正三年三月修業生 (二人)
大尉	中村 寛 (廣島)	少佐	野口 厚 (山口)	大正四年三月修業生 (二人)	
大尉	三好七郎 (三重)	大正七年三月修業生 (一人)			
中尉	小島 正 (靜岡)	大尉	佐藤源藏 (神奈川)	大正九年三月修業生 (二人)	
陸軍歩兵中尉	福島一郎 (岩手)	陸軍歩兵中尉	磯部幸助 (山口)	大正十年三月修業生 (七人)	
陸軍中尉	濱中匡甫 (東京)	陸軍中尉	工藤勝彦 (青森)	大正十一年三月修業生 (五人)	
海軍中尉	花田行武 (鹿兒島)	海軍二等主計	室田五郎 (山口)	陸軍歩兵中尉	
				永井卯吉 (鹿兒島)	
				澤吹 衷 (新潟)	
				陸軍歩兵中尉	
				清水精四郎 (群馬)	
				多賀高秀 (東京)	
				陸軍歩兵中尉	
				山口憲三 (福島)	

陸軍歩兵中尉 山崎文三郎 (福岡)

大正十二年三月修業生 (三名)

(ABC順)

(ABC順)

陸軍歩兵大尉 西原鹿之助 (靜岡)

陸軍歩兵中尉 山崎 茂 (長野)

陸軍二等主計 安川海六 (長野)

佛語學科

明治四十四年三月修業生 (一人)  
 海軍機 小野 德三郎 (三重)  
 關少佐  
 明治四十五年三月修業生 (一人)  
 海軍 洪 泰夫 (福岡)  
 少佐  
 大正二年三月修業生 (二人)  
 陸軍 安富 正造 (神奈川) 海軍 松宮 龍太郎 (東京)  
 少佐 少佐  
 大正三年三月修業生 (一人)  
 海軍 鶴野 正方 (熊本)  
 少佐  
 大正四年三月修業生 (二人)  
 海軍 峰谷 信太郎 (岡山) 海軍 石原 北夫 (東京)  
 大尉 少佐  
 大正五年三月修業生 (三人)  
 海軍 飯倉 克己 (大分) 海軍 松平 志壽 (東京) 海軍機 鈴木 己子 (東京)  
 大尉 大尉  
 大正六年三月修業生 (三人)  
 海軍 山村 實 (大分) 海軍 井澤 徹 (山口) 海軍機 佐藤 柱助 (秋田)  
 大尉 大尉

大正七年三月修業生 (二人)

海軍機 永江 晋 (東京) 海軍 小林 不二 (東京)  
關大尉 大主計

大正八年三月修業生 (一人)

海軍 山田 敏世 (長崎)

大正九年三月修業生 (四人)

海軍 大塚 惟重 (東京) 海軍 倉永 小三 (佐賀)  
大尉 中尉

大正十年三月修業生 (五人)

海軍 加治木 智種 (東京) 陸軍 黒川 清 (千葉)  
大尉 中尉

大正十一年三月修業生 (四名)

海軍 關中尉 福地 英男 (佐賀) 海軍 石川 信 (岩手)  
中尉

大正十二年三月修業生 (三名)

海軍機 藤井 芳郎 (東京) 海軍 草刈 英治 (福島)  
關大尉 大尉

海軍主 南川 勝三郎 (長野)  
計中尉

(ABC順)

海軍 西村 隆光 (滋賀) 海軍 杉谷 典七 (福井)  
大尉 中尉

(ABC順)

陸軍 高木 勇 (茨城)  
兵中尉

(ABC順)

海軍 小島 齋志 (愛媛) 海軍主 森澤 梅四郎 (岡山)  
中尉 計中尉

(ABC順)

海軍 南川 勝三郎 (長野)  
計中尉

獨語學科

明治四十四年三月修業生 (四人)

海軍少佐 井上繁則 (香川) 海軍機軸 赤堀研吉 (兵庫) 海軍中佐 井出光輝 (廣島) 海軍少佐 上村從義 (東京)

明治四十五年三月修業生 (二人)

海軍機軸 中政之 (神奈川) 海軍主計 少監 梶川清美 (東京)

大正二年三月修業生 (三人)

海軍少佐 伊藤彰五郎 (千葉) 海軍機軸 角田常治郎 (千葉)

大正三年三月修業生 (四人)

海軍主計 少監 二村光三 (福島) 海軍 服部豐彦 (和歌山) 海軍主計 少監 細井正治 (東京) 海軍中佐 木村豐樹 (東京)

大正五年三月修業生 (二人)

海軍大尉 野原伸治 (山口) 海軍 佐久間敬太郎 (和歌山)

大正六年三月修業生 (二人)

海軍少佐 久保忠道 (鳥取) 海軍機軸 關大尉 渡邊陸一 (岡山)

大正七年三月修業生 (五人)

海軍中尉 吉田茂雄 (大分) 海軍大尉 細谷義男 (東京) 海軍機軸 關大尉 江坂德藏 (東京)

海軍中尉 鎌田道章 (愛媛) 海軍少佐 松本一郎 (福島)

大正八年三月修業生 (三人)

海軍主計 中尉 野嘉末 (三重) 海軍機軸 關中尉 久保敬二 (香川) 海軍機軸 赤坂卯之助 (大阪)

大正九年三月修業生 (三人)

海軍大尉 濱田邦雄 (長崎) 海軍中尉 細谷信三郎 (京都) 海軍大尉 大野善隆 (東京)

大正十年三月修業生 (三人)

海軍主計 中尉 西野定市 (福岡) 海軍大尉 小佳徳三郎 (福岡) 海軍機軸 關中尉 山口眞澄 (宮城)

大正十一年三月修業生 (六名)

海軍中尉 安藤榮城 (岡山) 步兵中尉 中村越 (山梨) 步兵中尉 高田典文 (福井)

大正十二年三月修業生 (二人)

海軍機軸 關中尉 御子柴隼人 (長野) 步兵中尉 作間喬宜 (山口) 海軍大尉 吉村貞 (鹿兒島)

大正十二年三月修業生 (二人)

海軍機軸 關中尉 今泉英三 (愛知) 海軍中尉 三上射鹿 (廣島)

露語學科

明治四十五年三月修業生 (一人)

大尉 眞崎勝次(鹿兒島)

大正二年三月修業生 (二人)

少佐 内藤省一 (東京) × 大尉 三宅 駿五 (兵庫)

大正四年三月修業生 (二人)

大尉 中島喜代宜 (茨城) 少佐 池 中健一 (千葉)

大正五年三月修業生 (二人)

大尉 蒲生武司 (宮城) 大尉 簗妻 準二 (山口)

大正七年三月修業生 (一人)

中尉 阪本 敏 (埼玉)

大正九年三月修業生 (二人)

大尉 新井 清 (東京) 大尉 久重 一 郎 (岡山)

大正十年三月修業生 (四人)

陸軍歩兵中尉 岩 淵 駿一 (千葉) 海軍 中尉 前田 稔(鹿兒島)

陸軍歩兵中尉 松本喜六(熊本)

海軍 中尉 山縣 豪介 (山口)

陸軍歩兵中尉 松本喜六(熊本)

(ABC順)

(ABC順)

大正十一年三月修業生 (三名)

大尉 藤城 錦之助 (東京) 陸軍騎兵中尉 菊田 一 郎 (山梨)

大正十二年三月修業生 (三名)

中尉 黒木 剛一 (宮崎) 陸軍歩兵中尉 水 谷 純 (三重)

陸軍歩兵中尉 安 廣 年 雄 (福岡)

(ABC順)

(ABC順)

陸軍歩兵中尉 根 東 龍太郎 (徳島)

伊語學科

中海軍 中賀 藤吾 (佐賀)	明治四十四年三月修業生 (一人)	
中海軍 關少佐 中 謙治 (福岡)	明治四十五年三月修業生 (一人)	
陸軍歩兵中尉 多田 德久 (山口)	大正七年三月修業生 (一人)	
陸軍歩兵中尉 大谷 雄介 (山口)	大正十年三月修業生 (二人)	(ABC順)
陸軍歩兵中尉 尾 俊彦 (東京)	大正十二年三月修業生 (一名)	
陸軍歩兵中尉 矢 島 元 (山形)		

西語學科

少海軍 友貞 俊太郎 (山口)	明治四十四年三月修業生 (一人)	
大海軍 池田 敬之助 (東京)	大正二年三月修業生 (一人)	
大海軍 江頭 貞三 (佐賀)	大正五年三月修業生 (二人)	
大海軍 大尉 橫山 馨 (東京)	大正六年三月修業生 (一人)	
中海軍 竹下 志計理 (島根)	大正九年三月修業生 (二人)	
大海軍 森田 一男 (福井)	大正十年三月修業生 (二人)	(ABC順)
中海軍 伊藤 賢三 (和歌山)	陸軍歩兵中尉 大島 竹藏 (京都)	
中海軍 中尉 益田 康彦 (福岡)	大正十二年三月修業生 (一名)	

支那語學科

大海軍 菅沼恕人 (愛知) × 計少監 花井 申 (埼玉)	大正二年三月修業生 (二人)	
大海軍 久保田久晴 (東京) 少佐 伊藤 完 (三重)	大正三年三月修業生 (四人)	大海軍 杉坂悳二郎 (富山)
大海軍 梅田三良 (東京)	大正四年三月修業生 (一人)	大海軍 柴田源一 (愛媛)
大海軍 土居政道 (高知) 大尉 酒井武雄 (長崎)	大正六年三月修業生 (二人)	
大海軍 土本俊一 (愛知) 中尉 宇田川英庸 (神奈川)	大正七年三月修業生 (三人)	中尉 野村經徳 (兵庫)
大海軍 尾崎 剛 (千葉) 少尉 猪瀬乙彦 (福島)	大正八年三月修業生 (二人)	
大海軍 中原三郎 (佐賀) 大尉 岡野俊吉 (兵庫)	大正十年三月修業生 (二人)	(ABC順)
中尉 中尉 野村經徳 (兵庫)		

陸軍歩兵中尉 石田豐藏 (兵庫) 陸軍歩兵中尉 鶴田登實 (福岡)	大正十一年三月修業生 (五名)	陸軍歩兵中尉 山本基行 (山梨)
陸軍歩兵中尉 寺田秋三 (新潟) 陸軍歩兵中尉 渡邊卯一郎 (新潟)	大正十二年三月修業生 (五名)	
陸軍大尉 隈部 勇 (東京) 陸軍中尉 西田正人 (福岡)		陸軍歩兵大尉 高木 信 (佐賀)
陸軍大尉 前田照城 (高知) 中尉 清水 健 (神奈川)		



蒙古語學科

大正七年三月修業生 (二人)  
 海軍歩兵中尉 松田光作 (山口) 陸軍輜重石原保男 (岡山)  
 大正九年三月修業生 (二人)  
 陸軍歩兵中尉 市川寛一郎 (福島) 陸軍歩兵中尉 間瀬勘八 (愛知)  
 大正十二年三月修業者 (一名)  
 陸軍歩兵中尉 久保勝春 (福岡)

馬來語學科

明治四十五年三月修業生 (二人)  
 少海軍佐 森田三郎 (東京)  
 大正二年三月修業生 (一人)  
 海軍大尉 井上眞吾 (廣島)  
 大正六年三月修業生 (一人)  
 海軍大尉 柴田善治郎 (愛媛)

別科(後專修科)改稱ス修了生  
英語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生

(十二人)

(いろは順)

岡田明達 (愛知)  
高橋行次 (滋賀)  
園田辰三郎 (東京)

浦壁長富 (東京)  
野一色千七郎 (静岡)  
大西成太 (香川)

黒川善一 (東京)  
黒田茂次郎 (長崎)  
松下專吉 (静岡)

小山市太郎 (東京)  
小山英吾 (東京)  
三宅貞齋 (東京)

明治三十三年七月第二回別科修了生

(六人)

(いろは順)

鳥越盛 (佐賀)  
高比良勝二 (長崎)

田中虎雄 (埼玉)  
中川源三郎 (京都)

大高半太郎 (東京)  
的場悌 (和歌山)

明治三十四年七月第三回別科修了生

(五人)

(いろは順)

錦織房之助 (宮城)  
香川敦太郎 (愛媛)

久保清太郎 (徳島)  
松井英一郎 (岐阜)

枝正八 (茨城)

明治三十五年七月第四回別科修了生

(十六人)

(いろは順)

伊東献密 (福島)  
西村惠次郎 (滋賀)  
星野鏡造 (東京)

加賀川市松 (兵庫)  
興謝野修 (京都)  
多羅間政輔 (山口)

内藤明延 (東京)  
野田爲太郎 (鳥取)  
野木彌生八 (和歌山)

山中實次郎 (滋賀)  
山崎正身 (高知)  
古谷鉄之助 (東京)

秋山運四郎 (宮城)

君塚一 (東京)

宮定平 (廣島)

鈴木孫太郎 (静岡)

明治三十六年七月第五回別科修了生

(十九人)

(いろは順)

石川功 (廣島)  
蜂屋三千三 (東京)  
小川松輔 (宮城)  
片山喜十郎 (京都)  
金子助次郎 (長崎)

吉福興四郎 (長崎)  
谷水輔 (福島)  
内山秋太郎 (静岡)  
大村足彦 (東京)  
倉橋軍治 (宮城)

山形龜次郎 (東京)  
山中榮藏 (山口)  
松井億太郎 (茨城)  
小泉有道 (石川)  
小出鑑次郎 (東京)

後藤敬三 (東京)  
秋月源太郎 (静岡)  
三浦秀二 (長崎)  
森美文 (東京)

明治三十七年七月第六回別科修了生

(十二人)

(いろは順)

板垣昌助 (静岡)  
原庄藏 (静岡)  
森善一 (東京)

堀重幸 (東京)  
小笠原静也 (東京)  
加藤利雄 (東京)

高橋静雄 (東京)  
村形英次郎 (東京)  
太田喜次郎 (京都)

眞下利那 (群馬)  
宮越健太郎 (新潟)  
四戸友太郎 (岩手)

明治三十八年七月第七回專修科(別科)改稱科修了生

(十九人)

(いろは順)

犬伏節輔 (徳島)  
今井静治 (新潟)  
牛田虎雄 (東京)  
西原修三 (東京)  
岡本稻輔 (神奈川)

小野千代太 (廣島)  
荻野由次郎 (埼玉)  
和田政治 (新潟)  
河村竹三郎 (岐阜)  
糟谷武城 (鳥取)

多田作治郎 (福岡)  
鶴見高 (千葉)  
長岡喜一 (山口)  
中村三男吉 (東京)  
永井彌彦 (茨城)

中野一三 (香川)  
内田鎌司 (神奈川)  
安福勝美 (岐阜)  
是永均 (大分)

明治三十九年七月第八回專修科修了生

(二十四人)

(いろは順)

- 伊東要之輔 (愛知)
- 服部鉄三郎 (神奈川)
- 伊藤充男 (岐阜)
- 林 琢 原 (大分)
- 伊藤昭吉 (香川)
- 西村 稠 (島根)
- 伊矢野豊三郎 (栃木)
- 富永正清 (長崎)
- 石塚久雄 (新潟)
- 千葉 茂 (岩手)
- 服部連三 (福島)
- 小澤政行 (東京)
- 萩島四三二 (東京)
- 尾島林之助 (神奈川)
- 波邊 豊一 (廣島)
- 川口眞清 (新潟)
- 植田 稔 (東京)
- 釘宮 極 (大分)
- 山内朝吉 (福岡)
- 安藤兔毛喜 (長崎)
- 齋藤 實 (東京)
- 芝 芳 義 (福岡)
- 森田 甫 (兵庫)
- 住野良三 (奈良)

明治四十年三月第九回專修科修了生

(二十二人)

(いろは順)

- 岡 田 鈞 (東京)
- 中山彌市 (栃木)
- 藤 卷 清 (東京)
- 小笠原 安太郎 (和歌山)
- 氏江富藏 (山形)
- 雙川喜一 (東京)
- 川原井 左司馬 (茨城)
- 大津 茂 (東京)
- 舟越升太 (大分)
- 川崎 廉 吾 (佐賀)
- 藏口淺次郎 (富山)
- 青木秀太郎 (滋賀)
- 芳野春吉 (愛媛)
- 久米 豊 作 (埼玉)
- 淺石晴香 (青森)
- 露口浩治 (大阪)
- 丸山 殿 淨 (長野)
- 笹森章一 (青森)
- 木村說二 (兵庫)
- 水野 謙三 (東京)
- 織岸久治 (宮城)
- 城 親 政 (栃木)

明治四十一年三月第十回專修科修了生

(十四人)

(いろは順)

- 原 忠 道 (東京)
- 河 村 正 (東京)
- 小林嘉貞 (山梨)
- 西木瀧藏 (廣島)
- 高倉俊政 (富山)
- 寺田祐男 (長野)
- 星野勝藏 (東京)
- 玉田耕二 (兵庫)
- 天草三郎 (東京)
- 木村善淳 (三重)
- 三 原 裕 (大分)
- 鹽川八男 (香川)
- 島羽順二 (東京)
- 山田寛治 (新潟)
- 木村善淳 (三重)

明治四十二年三月第十一回專修科修了生

(二十二人)

(いろは順)

- 市原文治 (徳島)
- 田 内 定 治 (愛知)
- 中島濱三郎 (栃木)
- 石田善太郎 (東京)
- 津村俊雄 (和歌山)
- 村越清太郎 (東京)
- 石井己代吉 (東京)
- 津山辨一 (大阪)
- 太田清三郎 (岡山)
- 渡邊 裕 (東京)
- 辻 芳 哉 (福岡)
- 前田元四郎 (青森)
- 金原利雄 (千葉)
- 根本敬三 (東京)
- 小林 信一 (東京)
- 金田爾郎 (鳥取)
- 中村盛司 (千葉)
- 小西好二郎 (奈良)
- 依 謹 五 郎 (茨城)
- 村井己年 (大分)
- 榎本秋次郎 (東京)
- 高橋隆司 (千葉)
- 野村於菟三 (奈良)
- 天津 莊 一 (東京)
- ×田中鐵之助 (東京)
- 大岩 峯 吉 (東京)
- 坂本貞道 (東京)
- 田崎安榮 (東京)
- 熊谷六郎 (岐阜)
- 櫻井宗吉 (東京)
- 角田不二雄 (東京)
- 入百 顯 龍 (石川)
- 木下末雄 (佐賀)
- 菊田熊太郎 (東京)
- 土方井三 (東京)
- 平野長太郎 (愛知)
- 檜山兼次郎 (茨城)

明治四十三年三月第十二回專修科修了生

(十九人)

(いろは順)

- 赤羽 右 (長野)
- 古 市 哲 (千葉)
- 柴山啓一郎 (茨城)
- 近藤保業 (兵庫)
- 古田吉五郎 (大阪)
- 大西竹松 (奈良)
- 三藤治三郎 (三重)
- 土屋岐蘇生 (長野)
- 江川種太郎 (長崎)
- 深江彦一 (大阪)
- 竹澤正武 (長野)
- 福崎節衛 (東京)
- 吉野正夫 (千葉)
- 中川宗太郎 (大阪)
- 大久保鼎造 (東京)
- 小林哲之助 (新潟)
- 小山體二 (岡山)
- 吉川男也 (山形)
- 吉田壽三郎 (熊本)
- 後藤基固 (滋賀)
- 吉田國松 (北海道)
- 岩崎勝平 (東京)

明治四十四年第十三回專修科修了生

(二十七人)

(成績順)

- 猪瀬久三 (茨城)
- 藤澤出来造 (東京)
- 藤澤出来造 (東京)
- 小林哲之助 (新潟)
- 岩崎勝平 (東京)

齋藤政一 (埼玉) 伊藤憲三 (東京) 工藤潤次郎 (長野)

明治四十五年三月第十四回專修科修了生 (三十二人) (成績順)

- 澁谷重武 (東京) 早川義治 (東京) 佐藤龍男 (廣島)
- 木田利暢 (島根) 高須岩代 (東京) 能勢勝夫 (岡山)
- 桐生筆次 (新潟) 森本憲章 (東京) 小笠原徳兵衛 (岩手)
- 高江幸彦 (大分) 邊見由太郎 (東京) 木村久七郎 (群馬)
- 大川福松 (茨城) 藤岡健藏 (富山) 中川轍夫 (京都)
- 間宮孝 (静岡) 豐島旭 (茨城) 飯島英次 (東京)
- 佐野喜三郎 (東京) 曾我順雄 (神奈川) 土井敬一 (和歌山)
- 三谷錦太郎 (東京) 村上喜平 (福島) 岸田舜道 (滋賀)
- 井出徳夫 (長野) 關徳平 (神奈川) 一ノ瀬敏 (千葉)
- 高宮岩夫 (千葉) 太田丈太郎 (大阪) 名和順秀 (東京)
- 高松鶴吉 (千葉) 伊藤健 (福井) 神田準一 (福岡)
- 若松盛之助 (東京) 井上信善 (茨城) 神崎友吉 (栃木)
- 上野一夏 (東京) 望月世教 (東京) 市川宜 (静岡)
- 堀江幸太郎 (兵庫) 大正三年三月第十六回專修科修了生 (十五人) (成績順)
- 金子正吾 (長野)

- 服部繁松 (静岡) 眞宮幸之助 (京都) 伊藤一薰 (群馬)
- 宮下時太郎 (千葉) 大庭榮藏 (東京) 廣瀬貞平 (岐阜)
- 藤野憲夫 (静岡) 石丸充 (大分) 種田謙二 (岐阜)
- 片岡佛三 (東京) 大塚彪雄 (千葉) 内藤健司 (愛知)
- 高井末彦 (島根) 高橋貞作 (神奈川) 西川達三郎 (群馬)
- 内海三八郎 (神奈川) 白井眞策 (兵庫) 皆崎義顯 (廣島)

大正四年三月第十七回專修科修了生 (九人) (成績順)

- 弓削孝之助 (東京) 山内典一 (東京) 内藤助治 (宮城)
- 伊藤恒 (千葉) 田邊定義 (鳥取) 手島三千三 (東京)
- 伊藤兼四郎 (東京) 増村勝 (埼玉) 乾彦一 (京都)

大正五年三月第十八回專修科修了生 (十一人) (成績順)

- 山村喬 (福井) 安積千勝 (高知) 村田眞多男 (東京)
- 都築茂 (鹿兒島) 山本榮助 (岡山) 杉本連治 (愛知)
- 中島鉄次 (佐賀) 儀峨徹二 (福井) 須藤忠 (栃木)
- 宮下壽 (長野) 關矢恕一 (新潟) 武藤廣 (山梨)

大正七年三月第二十回專修科修了生 (二十三人) (成績順)

- 森山正義 (島根)
- 加藤圓三郎 (愛知)

東野榮造 (大分) 大高喜一 (東京) 板橋秀雄 (東京) 大城戸仁輔 (兵庫)  
 加藤喜太郎 (東京) 長谷川謙 (東京) 永田直武 (鹿兒島) 伊佐義基 (熊本)  
 安田健一 (山梨) 平澤茂 (神奈川) 森又二 (富山) 山下恭之助 (茨城)  
 金子庸之助 (東京) 廣浦政和 (東京) 宮川秀雄 (東京) 高野讓 (山形)  
 山崎茂樹 (千葉) 田村浩 (群馬) 白井由藏 (栃木) 佐藤義和 (静岡)  
 三上春美 (東京) 峰岸喜一 (福島) 小島時久 (栃木)

大正八年三月第二十一回專修科修了生

(二十六人)

(成績順)

熊澤福督 (神奈川) 長澤榮作 (静岡) 上田惠三 (東京) 五十嵐藤助 (山形)  
 延原好一 (岡山) 櫻井義教 (群馬) 船越藤吉 (東京) 春日喜三男 (長野)  
 飛永賢三 (東京) 菊島丙三 (山梨) 大谷忠四郎 (福島) 大崎範一 (東京)  
 花村馨 (廣島) 藤崎銳樹 (高知) 高橋剛 (福島) 池本靜藏 (京都)  
 佐藤德三郎 (東京) 根岸眞三郎 (埼玉) 柏木栗 (兵庫) 鶴澤多吉 (千葉)  
 如念昌永 (沖繩) 橋本健之助 (埼玉) 高松作治郎 (千葉) 谷口德行 (福岡)  
 多田茂 (富山) 二宮榮春 (愛媛) 中島敏男 (佐賀) 豐倉正次 (鹿兒島)  
 江口瀧造 (千葉) 黒岩善吉 (群馬) 佐々光郎 (三重) 谷口德行 (福岡)  
 細川良爾 (千葉) 森本亮一 (静岡) 鈴木千藏 (千葉) 内田繁 (東京)  
 伊藤一 (東京) 西谷才二郎 (栃木) 田口泰藏 (兵庫) 若杉藤政 (福島)  
 國弘憲治 (山口) 酒井信 (東京) 高橋富藏 (東京)

大正九年三月第二十二回專修科修了生

(十八人)

(ABC順)

矢田直二 (東京) 山本嘉助 (岐阜)

大正十年三月第二十三回專修科修了生

(二十人)

(ABC順)

安西清行 (千葉) 宮崎佐市郎 (和歌山) 齋藤良雄 (宮城) 鶴澤茂三 (千葉)  
 芦田清吉 (東京) 森下重格 (徳島) 清水秀雄 (東京) 山本貞吉 (滋賀)  
 足羽憲太郎 (鳥取) 永沼騰 (福岡) 高和博 (茨城) 横田清 (茨城)  
 伏見芳太郎 (東京) 西村直樹 (廣島) 高澤眞入 (栃木) 横山福太郎 (神奈川)  
 菊池武光 (東京) 織田又雄 (東京) 榎輪正己 (福井) 吉田善松 (新潟)

大正十一年三月第二十四回專修科修了生

(二十七名)

(ABC順)

安藤文雄 (大分) 今里延次郎 (東京) 松平登 (神奈川) 富岡治郎 (埼玉)  
 荒尾賢 (茨城) 石橋利三郎 (福岡) 宮本健二郎 (茨城) 若栗博助 (富山)  
 千原千代吉 (東京) 菊池喜久太郎 (東京) 森脇國男 (大分) 山野眞一 (東京)  
 江畑誠一 (千葉) 小林敬太郎 (岡山) 中村唯一 (山口) 米垣整史 (東京)  
 日比野昭 (岐阜) 金武雄 (岩手) 佐久間長次郎 (北海道) 吉田兵吉 (東京)  
 廣瀬健三 (大阪) 小園秀雄 (鹿兒島) 鈴木俊久 (静岡) 吉田健次 (福島)  
 堀田勝郎 (高知) 能代吉太郎 (東京) 高橋敬三 (新潟)

大正十二年三月第二十五回專修科修了生

(三十名)

(ABC順)

有山瓊二 (福岡) 粟津清達 (東京) 江田靜藏 (福岡) 福田俊介 (栃木)

長谷川忠平 (東京)	三村武保 (長野)	大澤作次 (神奈川)	武村善夫 (長崎)
服部克己 (熊本)	美坂彦藏 (鹿兒島)	櫻川貞雄 (東京)	堤勝 (愛媛)
堀内慶次 (東京)	中田竹二 (東京)	關武思 (福島)	渡邊貞一 (静岡)
磯野三男 (東京)	新倉慶 (神奈川)	白井章平 (北海道)	山本卯一 (三重)
伊東稔 (福井)	野間逾 (愛媛)	杉山慶一 (山形)	山崎卯吉 (新潟)
笠木榮次郎 (東京)	小川英夫 (兵庫)	高橋滋 (宮城)	
小林貞武 (東京)	大久保喜義 (兵庫)	高橋繁夫 (東京)	

佛語學科

服部邦光 (長崎)	金光泰 (大分)	松原常次郎 (東京)	白井傳三郎 (長野)
新原俊秀 (宮崎)	大野若三郎 (神奈川)	宮城大太郎 (千葉)	關次郎 (長野)
歸山信順 (石川)	山内健吉 (岐阜)	鈴木彌次平 (静岡)	
神谷龍彦 (愛知)	吉田六之助 (千葉)	井出哲 (東京)	
徳岡梅吉 (鳥取)	上條辰藏 (長野)	三戸頼猷 (山口)	
高岩勘次郎 (福岡)	寺島成信 (山形)	齋藤久孝 (兵庫)	
田村保三 (千葉)	阿部景毅 (宮城)	佐藤純太郎 (石川)	
岡田武松 (千葉)	有吉秀太 (山口)	三谷氏郎 (香川)	
山下安太郎 (埼玉)	浅井義唱 (愛知)	鹿野岩次郎 (石川)	
秦正雄 (三重)	本間重策 (新潟)	吉岡七郎 (東京)	野田爲太郎 (鳥取)

明治三十二年七月第一回別科修了生 (九人) (いろは順)

明治三十三年七月第二回別科修了生 (三人) (いろは順)

明治三十四年七月第三回別科修了生 (三人) (いろは順)

明治三十五年七月第四回別科修了生 (十四人) (いろは順)

明治三十六年七月第五回別科修了生 (八人) (いろは順)

黒島定静 (高知) 前原準一郎 (群馬) 松原制六 (山口) 齋藤豊作 (東京)

明治三十七年七月第六回別科修了生 (十人) (いろは順)

石津利作 (大阪) 寺澤健二 (愛知) 生野團六 (大分) 菅谷龍平 (東京)

吉原開 (東京) 木村衡 (新潟) 平澤均治 (青森)

中村平吉 (岩手) 宮崎團治郎 (長野) 日暮忠 (東京)

明治三十八年七月第七回專修科(別科改稱)修了生 (六人) (いろは順)

今道文一郎 (長崎) 園部潛 (三重) 崎山刀太郎 (東京)

池上泰次郎 (長野) 後藤清造 (岩手) 宮林捨藏 (新潟)

明治三十九年七月第八回專修科修了生 (八人) (いろは順)

小野秀太郎 (茨城) 田島道治 (愛知) 太田喜二郎 (京都) 福尾昇 (島根)

梶田謙太郎 (東京) 井上通夫 (東京) 大關久五郎 (青森) 鈴木行三 (群馬)

明治四十年三月第九回專修科修了生 (五人) (いろは順)

飯守勘一 (佐賀) 渡邊劍之丞 (埼玉) 中島濱三郎 (栃木)

岡實 (奈良) 梶川義隆 (東京)

明治四十一年三月第十回專修科修了生 (六人) (いろは順)

市川節太郎 (石川) 内崎豊一郎 (宮城) 淺野良 (茨城)

池田福松 (大阪) 大島隆吉 (岩手) 平田稔 (和歌山)

明治四十二年三月第十一回專修科修了生 (四人) (いろは順)

中山隆吉 (滋賀) 奥山萬次郎 (静岡) 山口篤郎 (東京) 秋間愛一 (群馬)

明治四十三年三月第十二回專修科修了生 (七人) (いろは順)

河本新一 (山口) 松本忠清 (愛媛) 榎本明 (福岡) 三隅禎三郎 (山口)

藪篤鷹 (東京) 小林馨 (廣島) 天野政太郎 (東京)

明治四十四年三月第十三回專修科修了生 (六人) (成績順)

宮村時一郎 (東京) 原基一郎 (静岡) 山脇義太郎 (兵庫)

杉本伊作 (静岡) 郡山嘉内(鹿兒嶋) 今井吉朗(神奈川)

明治四十五年三月第十四回專修科修了生 (七人) (成績順)

加納道生 (大分) 飯島徳次 (埼玉) 富士徳治郎 (奈良) 松井九郎 (群馬)

赤羽右 (長野) 杉本連治 (愛知) 小泉良俊 (東京)

大正二年三月第十五回專修科修了生 (四人) (成績順)

島村榮之助 (埼玉) 鈴木悦 (愛知) 赤羽秀雄 (福島) 植村家治 (東京)

大正三年三月第十六回專修科修了生 (七人) (成績順)

長松宗一 (福岡) 岡本平 (愛知) 福島兼馬 (高知) 千森市之亮 (東京)

岩永勝典 (長野) 土御門信復 (京都) 山内篤 (福井)

大正四年三月第十七回專修科修了生

(十人) (成績順)

田中文勝 (埼玉) 武田外希佳 (石川)  
牧彦七 (大分) 大久保彦藏 (茨城)  
山田延壽 (高知) 三雲金藏 (東京)

物部長礎 (秋田)  
入澤一耶 (新潟)  
寺田勢造 (兵庫)

山田又市 (新潟)

大正五年三月第十八回專修科修了生

(十一人) (成績順)

難波琢實 (岡山) 阿部壽華 (山口)  
牛田廉次 (東京) 伊東孝一 (東京)  
藤江惠輔 (兵庫) 山本犀藏 (兵庫)

武井理三郎 (群馬)  
玉越太郎 (東京)  
川崎一耶 (東京)

雨田外次郎 (福井)  
桑原銀二 (福井)

大正六年三月第十九回專修科修了生

(十三人) (成績順)

吉澤茂一 (東京) 清岡博見 (岩手)  
色部貢 (長野) 岡部正一 (兵庫)  
今岡十一郎 (島根) 米田保 (福岡)  
中岡孫一耶 (和歌山) 竹下政之助 (東京)

田中稻三 (群馬)  
加藤鈴三 (愛知)  
岩崎民平 (山口)  
佐藤大經 (廣島)

大谷忠四郎 (福島)

大正七年三月第二十回專修科修了生

(十人) (成績順)

小林德三郎 (大阪) 高橋好三 (埼玉)  
高橋三郎 (福岡) 岡村千秋 (長野)  
平田宗胤 (東京) 神谷勇 (三重)

佐久間外二 (石川)  
山中樾次郎 (東京)  
熊谷武 (兵庫)

卷島庄之助 (茨城)

大正八年三月第二十一回專修科修了生

(十五人) (成績順)

井上堅曹 (愛媛) 塚本丈動 (東京)  
橋爪英夫 (福岡) 丸毛信勝 (大分)  
松坂佐一 (愛知) 柴田勤次 (新潟)  
石田旭勝 (東京) 宮本恒平 (東京)

北爪益雄 (埼玉)  
豐原清雄 (東京)  
及川文吾 (岩手)  
中幸田三治郎 (福岡)

兩角潤 (東京)  
戶澤富壽 (東京)  
河面繁松 (廣島)

大正九年三月第二十二回專修科修了生

(十人) (ABC順)

林元夫 (東京) 川島清次 (東京)  
帆足元夫 (東京) 友清保 (北海道)  
今村和平 (東京) 內田新造 (福岡)

牛山充 (長野)  
山口常光 (長崎)  
山崎忠雄 (山口)

安田鐵之助 (熊本)

大正十年三月第二十三回專修科修了生

(十八人) (ABC順)

藤定兼衛 (岡山) 小林喜一 (東京)  
萩野勝二 (北海道) 近田喜藤 (愛知)  
居城基 (新潟) 熊谷善兵衛 (宮城)  
金山幾太郎 (山口) 松岡正一 (新潟)  
川島清市 (東京) 三村孝一 (岡山)

森茂滿 (愛媛)  
長島重次郎 (京都)  
小原侑 (宮城)  
岡村德治 (高知)  
太田純一 (愛知)

瀨尾乃武 (茨城)  
島久雄 (長崎)  
高石正 (福岡)

大正十一年三月第二十四回專修科修了生

(十八名) (ABC順)

藤木一雄 (静岡)  
後藤外馬 (滋賀)

平川潔 (東京)  
金森虎男 (福井)

小林商治 (北海道)  
小山勝利 (大阪)

倉石忠一郎 (長野)  
黒澤浩太郎 (秋田)



前田祥吾 (東京)	滑川二三郎 (兵庫)	田中卓爾 (静岡)	安室俊治郎 (兵庫)
三浦伸善 (福岡)	關口光利 (東京)	田中吉兼 (東京)	
森田吉秀 (東京)	竹居光積 (山梨)	宇田一 (福島)	
大正十二年三月第二十五回專修科修了者 (十八名) (ABC順)			
古川周 (千葉)	風間久雄 (東京)	村田道規 (東京)	進藤常雄 (山口)
春木忠三郎 (東京)	木村秀男 (熊本)	西村捨也 (東京)	竹内竹馬 (福井)
長谷川勇 (福井)	岸克己 (群馬)	小笠原勇八 (岩手)	梅田真城 (廣島)
池原義見 (兵庫)	小島寛 (新潟)	大島正言 (神奈川)	
川喜田三郎 (三重)	三浦孝 (東京)	柴田信次 (兵庫)	

獨語學科

田崎復 (東京)	松岡定 (熊本)	澤田錦義 (神奈川)	(六人) (いろは順)
中村平作 (新潟)	幸田成友 (東京)	宮田義敬 (東京)	
明治三十二年七月第一回別科修了生 (六人) (いろは順)			
岩崎半次 (茨城)	堀常次郎 (岐阜)	歌原兼良 (愛媛)	(九人) (いろは順)
磯野清助 (東京)	徳永昌美 (東京)	山田又市 (新潟)	
今福忍 (神奈川)	中島松次郎 (茨城)	杉山正治 (東京)	
明治三十三年七月第二回別科修了生 (九人) (いろは順)			
川島庄一郎 (和歌山)	片山外典作 (東京)	乙竹岩造 (三重)	(八人) (いろは順)
可兒徳 (岐阜)	上田長藏 (京都)	福井久造 (兵庫)	
明治三十四年七月第三回別科修了生 (八人) (いろは順)			
伊藤弘一 (千葉)	高橋鐘二 (長野)	久保田敬一 (兵庫)	(十五人) (いろは順)
堀與三 (三重)	中條道次郎 (千葉)	工藤武城 (熊本)	
折原吉之助 (東京)	中柴鏢三郎 (東京)	菊地房三郎 (大分)	
高橋祐治 (大阪)	中島田人 (北海道)	篠田良二 (長野)	
明治三十五年七月第四回別科修了生 (十五人) (いろは順)			
		酒井政吉 (石川)	
		新海吉兵衛 (長野)	
		平木安之助 (福岡)	
		樋口兼治 (東京)	
		毛利祐吉 (石川)	

明治三十六年七月第五回別科修了生

(十三人) (いろは順)

伊東泰助 (千葉)  
伊東榮三郎 (東京)  
石崎久吉 (愛媛)  
小倉俊圓 (山口)

合田壽治 (東京)  
吉田喜三郎 (茨城)  
六笠弘躬 (東京)  
大久保直記 (長野)

黒住靜太 (岡山)  
松崎故一郎 (島根)  
眞弓眞 (愛知)  
平島直太郎 (徳島)

毛利正義 (東京)

明治三十七年七月第六回別科修了生

(十五人) (いろは順)

石井敏雄 (岡山)  
豐田八十代 (兵庫)  
金田捨吉 (宮崎)  
田畑梅次郎 (岡山)

井田豐太 (群馬)  
野々部本祐 (東京)  
大關久五郎 (青森)  
山根靜智 (島根)

藤本幸太郎 (三重)  
澤山勇三郎 (山口)  
佐藤純之助 (埼玉)  
坂田弘 (千葉)

森六藏 (茨城)  
瀬下清 (長野)  
杉村信臣 (東京)

明治三十八年七月第七回專修科(別科)修了生

(改稱)修了生 (十九人) (いろは順)

伊藤一郎 (東京)  
石田龜吉 (秋田)  
八田敏夫 (福井)  
岡田藤十郎 (愛知)  
小田部家資 (秋田)

川村丈吉 (千葉)  
河崎次雄 (長崎)  
河野義璋 (東京)  
田中親介 (三重)  
中田榮太郎 (東京)

野島和吉 (東京)  
葛岡陽吉 (宮城)  
矢崎習吉 (兵庫)  
小鷹速平 (埼玉)  
小柳新吉 (新潟)

渥美銳太郎 (群馬)  
相良頼綱 (東京)  
平島權藏 (東京)  
鈴木衡平 (静岡)

明治三十九年七月第八回專修科修了生

(十七人) (いろは順)

岡田芳之介 (茨城)  
吉田令兒 (兵庫)  
高橋勝 (島根)  
高木清徳 (島根)  
永田源一郎 (茨城)

村形東之助 (千葉)  
梅山讓 (群馬)  
近藤耕藏 (神奈川)  
近藤茂吉 (京都)  
江川惣次 (香川)

坂本寛次郎 (静岡)  
黄川田茂藏 (岩手)  
湯川直砥 (神奈川)  
清水静 (神奈川)  
平山金作 (愛知)

持田二郎 (東京)  
鈴木毅一 (静岡)

明治四十年三月第九回專修科修了生

(二十二人) (いろは順)

伊藤金八 (三重)  
稲葉宇作 (新潟)  
長谷川市松 (岡山)  
堀田要三郎 (三重)  
木田稔介 (山口)  
尾崎錦太郎 (岡山)

依田豊 (長野)  
馬上孝太郎 (福島)  
梅澤條五郎 (東京)  
海沼博 (長野)  
井浦義久 (福岡)  
奥村文平 (岐阜)

倉石眞三 (長野)  
矢田鶴之助 (島根)  
山本鎮三郎 (東京)  
間中綱彦 (東京)  
藤井輝雄 (東京)  
福山一二 (鹿兒島)

古賀平太 (佐賀)  
新井徳次郎 (埼玉)  
佐藤襄 (東京)  
宮部勝之介 (群馬)

明治四十一年三月第十回專修科修了生

(十三人) (いろは順)

亙理繁 (千葉)  
渡邊次郎 (東京)  
神藏其一 (新潟)  
高野親雄 (山形)

椿繁藏 (千葉)  
成松靜雄 (熊本)  
中曾根類造 (群馬)  
井上達子 (廣島)

柳澤秀吉 (富山)  
前田弘 (高知)  
小池政藏 (長野)  
齋藤糸平 (群馬)

水谷恭治 (岐阜)

明治四十二年三月第十一回專修科修了生

(十人) (いろは順)

飯海 愼二 (愛知)  
入田 清信 (京都)  
林 祐次郎 (愛知)

加藤 輝光 (埼玉)  
高橋 鈴彦 (愛知)  
角田 孝次郎 (新潟)

内記 茂市 (滋賀)  
安武 元十郎 (福岡)  
胡 以魯 (清國)

近藤 只藏 (東京)

明治四十三年三月第十二回專修科修了生 (十二人)

(いろは順)

板倉 東海男 (東京)  
神谷 衡平 (東京)  
高山 錄太郎 (東京)

坪田 熊雄 (福井)  
織田 仙之助 (東京)  
松田 重則 (奈良)

富士 德治郎 (奈良)  
荒井 桂三 (東京)  
水田 恭太郎 (東京)

鹽澤 直重 (山梨)  
篠原 露太郎 (山梨)  
下山田 正純 (秋田)

明治四十四年三月第十三回專修科修了生 (十四人)

(成績順)

周 家彦 (清國)  
福田 勝治 (埼玉)  
佐々木 啓介 (福井)  
小坂 榮次 (新潟)

上原 博開 (山梨)  
竹島 茂郎 (三重)  
山本 孝太郎 (和歌山)  
小林 正藏 (東京)

香掛 斧次郎 (長野)  
宇津 忠萬 (東京)  
安部 藤治 (大分)  
安彦 啓次郎 (北海道)

馬場 時藏 (埼玉)  
三好 喜和 (富山)

明治四十五年三月第十四回專修科修了生 (十八人)

(成績順)

村上 瑚磨雄 (岡山)  
原田 親雄 (北海道)  
水谷 英保 (東京)  
石堂 貞 (鹿兒島)  
渡邊 義男 (山梨)

松橋 達生 (青森)  
永山 武美 (北海道)  
西岡 定太郎 (高知)  
山田 平七 (京都)  
村田 辰三 (静岡)

島岡 浩一郎 (群馬)  
氏家 孝次郎 (宮城)  
伊藤 清一 (愛知)  
前澤 清助 (長野)  
田邊 定吉 (北海道)

郵岡 良臣 (東京)  
庄司 又三郎 (宮城)  
池田 隆平 (新潟)

大正二年三月第十五回專修科修了生 (十二人)

(十二人)

(成績順)

森 忠藏 (東京)  
小寺 昌 (京都)  
石川 鼎 (北海道)

武田 外希往 (石川)  
濱 田 章 (埼玉)  
山田 嘉一 (愛知)

松本 照吉 (高知)  
小島 德太郎 (東京)  
曾我 奎祐 (岐阜)

鹽田 與吉 (群馬)  
西本 直民 (東京)  
溝淵 兼次 (東京)

大正三年三月第十六回專修科修了生 (十七人)

(十七人)

(成績順)

谷 喜一郎 (東京)  
横田 千秋 (兵庫)  
大村 清一 (岡山)  
砂山 角野 (新潟)  
進藤 千之助 (兵庫)

白井 龜吉 (千葉)  
大塚 小郎 (山形)  
林 嘉保 (長野)  
小林 來三 (山口)  
三條 商太郎 (東京)

鹿野 澄 (鳥取)  
鹿兒島 茂 (福岡)  
岩田 文吉 (京都)  
岩本 民德 (鳥取)  
相川 直吉 (群馬)

小島 仁作 (大分)  
細野 角太 (群馬)

大正四年三月第十七回專修科修了生 (十七人)

(十七人)

(成績順)

西村 桐 (島根)  
猪俣 津南雄 (新潟)  
增田 透 (東京)  
北澤 種一 (長野)  
山田 實平 (静岡)

下村 宏次郎 (佐賀)  
井芹 繼志 (熊本)  
齋 藤 修 (岡山)  
谷田 澤隆甫 (静岡)  
松井 壽次 (愛知)

加藤 光三 (東京)  
古内 熊太郎 (宮城)  
川村 久治郎 (福井)  
桑田 福太郎 (廣島)  
柴田 孝一 (東京)

角田 清彦 (熊本)  
居合 銚一郎 (長野)

大正五年三月第十八回專修科修了生 (十五人)

(十五人)

(成績順)

甲斐直喜 (東京)  
鈴木重春 (東京)  
柳島鐵一 (愛知)  
村上信三 (大阪)

東室英夫 (東京)  
鈴木習之 (千葉)  
武田清三 (大阪)  
納五平 (兵庫)

御園生嘉二 (山口)  
松井佳一 (山口)  
黒柳謙吉 (岐阜)  
舛内豊 (千葉)

如馬治郎 (東京)  
熊谷武 (兵庫)  
鮫島近二 (鹿兒島)

大正六年三月第十九回專修科修了生

(十五人) (成績順)

山本鹿太郎 (神奈川)  
丸毛信勝 (大分)  
秋葉隆 (千葉)  
西池正顯 (福井)

關文圭 (長野)  
石川重吉 (愛知)  
湯淺次三郎 (富山)  
岩崎憲 (北海道)

寺田正中 (茨城)  
齋藤保次 (千葉)  
中山徳治 (福島)  
岡田彌一郎 (東京)

金子從次 (東京)  
眞宮幸之助 (京都)  
河野嘉六 (廣島)

大正七年三月第二十回專修科修了生

(十人) (成績順)

池端榮 (靜岡)  
伊藤宗一郎 (長野)  
澁谷十郎 (新潟)

阿部徳三郎 (北海道)  
中原壽一郎 (長野)  
松岡益雄 (熊本)

酒井光義 (東京)  
岡中周市 (山口)  
林藤三郎 (滋賀)

荒木榮次郎 (廣島)

大正八年第二十一回專修科修了生

(十八人) (成績順)

岡村梧彌太 (東京)  
大槻喬 (兵庫)  
大澤忠光 (東京)  
武田正雄 (岡山)  
加藤述之 (東京)

石丸源次郎 (佐賀)  
岡村喜代策 (埼玉)  
宮本寅平 (福岡)  
山本憲太郎 (靜岡)  
岩月定次 (愛知)

長尾昌平 (香川)  
長谷川得太郎 (愛知)  
濱口末喜 (大阪)  
松隈吉郎 (佐賀)  
大津千丈 (宮城)

黃祐日 (朝鮮)  
長野小伊三郎 (岐阜)  
西澤信三 (長野)

大正九年三月第二十二回專修科修了生

(十五人) (ABC順)

足木十郎 (愛知)  
原田雄一 (新潟)  
磯部節次 (山口)  
岩間綠郎 (青森)

加藤聰郎 (三重)  
小林商治 (北海道)  
中野宗治 (長野)  
直江光次 (新潟)

鬼釜繁 (熊本)  
坂井俊三郎 (長野)  
寶田通元 (東京)  
谷口市太郎 (福岡)

立田義夫 (東京)  
内沼武雄 (福島)  
渡邊虎太 (岡山)

大正十年三月第二十三回專修科修了生

(二十一人) (ABC順)

阿部眞 (福島)  
相澤與吉 (神奈川)  
古屋諦道 (東京)  
石黒誠一 (東京)  
金子源一 (東京)  
岸谷貞治郎 (大阪)

三宅當時 (東京)  
中村武 (千葉)  
西室貴義 (山梨)  
萩原太郎 (長野)  
小城末喜 (大分)  
小野竹次 (長野)

大倉武一 (大阪)  
押田武夫 (新潟)  
鹽澤誠 (宮城)  
竹内甲子二 (靜岡)  
戸田哲次郎 (鳥取)  
坪田孝之 (福井)

山城誠止 (宮城)  
養田隆一 (和歌山)  
吉岡友雄 (長崎)

大正十一年三月第二十四回專修科修了生

(十三名) (ABC順)

赤崎茂信 (香川)  
秋山直太郎 (東京)  
井上宗助 (東京)  
石井増太郎 (神奈川)

笠倉英之助 (廣島)  
布川二郎 (東京)  
柴田周吉 (福岡)  
申文休 (朝鮮)

庄司好彰 (山形)  
高橋正彦 (廣島)  
高下和義 (神奈川)  
牛山充 (長野)

山下武雄 (群馬)

大正十二年三月第二十五回專修科修了生

(十六名) (ABC順)

縣	清 (静岡)	古澤源刀 (東京)	松岡憲壽 (島取)	高橋柳太 (長野)
蘆澤忠治 (山梨)	本莊精一 (山梨)	西山重道 (長野)	梅本豐吉 (東京)	若林鶴三郎 (神奈川)
竹馬長三 (東京)	川原田幸 (岩手)	野間貞規 (廣島)	渡邊多郎 (岡山)	
藤林次郎 (青森)	黒澤清 (茨城)	長田綱彦 (兵庫)		

露語學科

田中與五郎 (大阪)	深井才治 (新潟)	(二人)	(いろは順)
明治三十二年七月第一回別科修了生			
岡部重一郎 (東京)	松尾長之助 (佐賀)	(三人)	(いろは順)
明治三十三年七月第二回別科修了生			
長野豊彦 (大分)	酒井恒矢 (山形)	(二人)	(いろは順)
明治三十四年七月第三回別科修了生			
稻澤珍三郎 (宮崎)	久保田兵一 (北海道)	(五人)	(いろは順)
明治三十五年七月第四回別科修了生			
大倉勳夫 (山形)	軍地五郎 (茨城)	木下蕃 (福井)	
明治三十六年七月第五回別科修了生			
市川謙三 (東京)	奥野幸吉 (兵庫)	村上常郎 (宮城)	于沖漢 (清國)
鳥居博 (福島)	竹内彌惣次 (三重)	村井英一郎 (岐阜)	松平庄九郎 (東京)
明治三十七年七月第六回別科修了生			

原田三平 (山口) 中川正雄 (兵庫) 藤井十四三 (山口)

岡田貞作 (新潟) 村山丑松 (新潟) 三宅福馬 (高知)

明治三十八年七月第七回專修科 (別科改稱) 修了生 (六人) (いろは順)

根津鹿之助 (千葉) 中瀬覺次郎 (富山) 山德貫之輔 (東京)

成瀬正義 (香川) 大友義勝 (東京) 同瀬越彌 (北海道)

明治三十九年七月第八回專修科修了生 (二人)

細野正文 (新潟) 明治四十年三月第九回專修科修了生 (七人) (いろは順)

石橋則隆 (福岡) 高崎忠一 (石川) 上野信孝 (東京)

金森輝夫 (岐阜) 竹内嘉兵衛 (東京) 駒田彌四郎 (三重)

明治四十一年三月第十回專修科修了生 (六人) (いろは順)

劉用 靜 (清國) 山科久 (栃木) 松信春之輔 (茨城)

鍵和田 專太郎 (神奈川) 松井英一 (宮城) 宮崎友次郎 (東京)

明治四十二年三月第十一回專修科修了生 (三人) (いろは順)

山本真太郎 (静岡) 荒木頼吉 (東京) 皆川太郎 (山口)

明治四十三年三月第十二回專修科修了生 (五人) (いろは順)

石龜守人 (岩手) 中野力太郎 (東京) 佐治喜一 (福島)

加藤盛三 (三重) 中島平 (福井)

明治四十四年三月第十三回專修科修了生 (四人) (成績順)

大森鐵三 (愛知) 竹島響一 (山口) 前田儀作 (東京) 遠藤宗一 (三重)

明治四十五年三月第十四回專修科修了生 (三人) (成績順)

岡見潤吉 (京都) 瀧文宣 (香川) 梅澤銀造 (宮城)

尾瀬敬止 (京都) 黒石信一 (東京) 長谷部照伍 (神奈川)

大正四年三月第十六回專修科修了生 (二人) (成績順)

關 餘 作 (北海道) 神田 榮 (山口) (四人) (成績順)

大正五年三月第十七回專修科修了生 (四人) (成績順)

桑木崇明 (東京) 玉木時哉 (新潟) 外山高一 (東京) 渡邊勝太郎 (東京)

大正六年三月第十八回專修科修了生 (六人) (成績順)

原 久一郎 (新潟) 中村良之助 (東京) 恒川助次郎 (愛知)

岡部直三郎 (廣島) 中村正明 (埼玉) 波邊秀一 (東京)

大正七年三月第十九回專修科修了生

(十二人)

(成績順)

佐々木嘉吉 (愛媛)	大高義尾 (東京)	田代己代次 (東京)	鈴木光三郎 (福島)
須田正繼 (山梨)	茂呂憲吉 (東京)	香川正雄 (岡山)	檜垣春三 (廣島)
白石實三 (群馬)	岡上守道 (高知)	松本欽一郎 (佐賀)	横本榮一 (岡山)

大正八年三月第二十回專修科修了生

(八人)

(成績順)

田淵誠一 (東京)	關部正一 (岐阜)	田島彰 (愛知)	川井田尙 (鹿兒島)
茂木剛三郎 (東京)	關矢恕一 (新潟)	大塚清 (兵庫)	星榮三郎 (宮城)

大正九年三月第二十一回專修科修了生

(六人)

(ABC順)

秋本宗市 (山口)	清見博見 (岩手)	永井誠也 (京都)
飯田武英 (東京)	草野成一 (福岡)	山縣竹志 (東京)

大正十年三月第二十二回專修科修了生

(九人)

(ABC順)

藤田純三 (三重)	中村禧 (山梨)	鈴木孝敬 (東京)
布施政信 (東京)	大友忠五郎 (岩手)	高橋好三 (埼玉)
峰須賀寛雄 (徳島)	白石信親 (熊本)	高桑榮祐 (富山)

大正十一年三月第二十四回專修科修了生

(十二人)

(ABC順)

藤井三吉 (群馬)	福岡正生 (北海道)	袋一平 (東京)	岩本嘉一 (青森)
-----------	------------	----------	-----------

北島守 (静岡)	名越修 (東京)	澤宣治 (東京)	植松茂雄 (大阪)
松元國治 (鹿兒島)	佐野英 (山梨)	武山十一夫 (東京)	山崎嘉兵衛 (東京)

大正十二年三月第二十五回專修科修了生

(八名)

(ABC順)

古屋諦道 (東京)	伊藤賢一 (東京)	小島長一郎 (東京)	中山貫一 (鹿兒島)
原進四郎 (山梨)	加唐謙吉 (東京)	三浦日出雄 (青森)	中澤茂男 (山口)

伊語學科

明治三十四年七月第一回別科修了生 (一人)

平松幾比古(和歌山)

明治三十五年七月第二回別科修了生 (一人)

森田鐵三郎(新潟)

明治三十六年七月第三回別科修了生 (一人)

菅野 眞(宮城)

明治四十五年三月第四回專修科修了生 (一人)

佐々木喜市(大阪)

大正三年三月第五回專修科修了生 (一人)

下位 春吉(東京)

大正四年三月第六回專修科修了生 (一人)

柳 英一郎(新潟)

大正五年三月第七回專修科修了生 (一人)

伊東廣雄(長野)

大正六年三月第八回專修科修了生 (二人) (成績順)

井岡邦雄(東京)

瀧澤直七(栃木)

大正七年三月第九回專修科修了生 (三人) (成績順)

牛山 充(長野)

中岡彌高(岡山)

坂本竹藏(東京)

大正九年三月第十回專修科修了生 (二人) (ABC順)

林 竹次郎(東京)

今關達也(千葉)



西語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生 (二人) (いろは順)

渡邊 清 (東京) 津田 弘季 (岡山)

明治三十三年七月第二回別科修了生 (一人)

堀口 福彦 (岡山)

明治三十四年七月第三回別科修了生 (一人)

鈴木 三郎 (千葉)

明治三十八年七月第四回專修科(別科改稱)修了生 (五人) (いろは順)

伊藤 恒太郎 (山口) 齋藤 惣吉 (山口) 進藤 信雄 (群馬)

明治四十年三月第五回專修科修了生 (五人) (いろは順)

橋本 靜 (澁賀) 片山 謙 (徳島) 宮崎 信造 (福岡)

明治四十一年三月第六回專修科修了生 (三人) (いろは順)

加藤 順之介 (茨城) 大野 基尙 (大分)

緒田 原重雄 (福岡) 加毛 肇 (三重) 吾妻 捨吉 (宮城)

明治四十二年三月第七回專修科修了生 (二人) (いろは順)

國久 作之助 (福井) 杉本 精 (東京)

明治四十三年三月第八回專修科修了生 (五人) (いろは順)

富田 義男 (福島) 若林 高彦 (愛知) 鈴木 眞靜 (兵庫)

大正二年三月第九回專修科修了生 (三人) (成績順)

駒崎 秀胤 (兵庫) 齋藤 準平 (宮城) 田代 己代次 (東京)

大正十一年三月第十回專修科修了生 (九人) (ABC順)

淺川 一衛 (廣島) 來生 鐵彌 (山形) 中野 哲雄 (鹿兒島)

大正十二年三月第二十五回專修科修了生 (四名) (ABC順)

石井 重正 (茨城) 日下部 昌勝 (宮城) 岡本 良知 (富山)

專修科修了生 葡語學科

二六一

淺見 泰一 (北海道) 中馬 隆 (鹿兒島) 濱田 茂實 (和歌山) 山本 憲太郎 (静岡)

加藤 忠八 (新潟) 長島 壽義 (東京) 高瀬 房吉 (福島)

葡語學科

大正七年三月第一回專修科修了生 (四人) (成績順)  
 十川成一 (山口) 副島五十二 (東京) 山崎幾平 (靜岡) 石原昌榮 (北海道)  
 大正八年三月第二回專修科修了生 (二人) (成績順)  
 ○笠井鎮夫 (岡山) 大西浩太 (岡山)

支那語學科

(舊稱清語學科)

大正二年改正

明治三十二年七月第一回別科修了生 (六人) (いろは順)  
 泉水信太郎 (千葉) 加納政太郎 (東京) 坂野竹之助 (茨城)  
 小川運平 (埼玉) 鎌田彌助 (鹿兒島) 日高賢吉郎 (長崎)  
 明治三十三年七月第二回前科修了生 (七人) (いろは順)  
 龜山玄明 (岐阜) 田中慶太郎 (京都) 大久保家道 (東京)  
 高岩勘次郎 (福岡) 中島比多吉 (埼玉) 福崎三次郎 (鹿兒島)  
 明治三十四年七月第三回別科修了生 (十七人) (いろは順)  
 稻澤珍三郎 (宮崎) 成田文太夫 (宮城) 大久保宜家 (東京)  
 岡田 瓢 (長野) 中田金次郎 (東京) 菊池三九郎 (東京)  
 小澤銀十郎 (長野) 村上久吉 (東京) 菊川龜次郎 (熊本)  
 唐澤祐慶 (東京) 大橋末彦 (東京) 岸 峰治郎 (鳥取)  
 高比良勝二 (長崎) 太田 繁 (東京) 皆川 秀孝 (茨城)  
 明治三十五年七月第四回別科修了生 (十一人) (いろは順)  
 田中政吉 (兵庫) 黒澤兼次郎 (富山) 兒玉 純 (鹿兒島)  
 宅野 潔 (山口) 桑原壽一 (山口) 遠藤三藏 (兵庫)  
 村田鐵三郎 (愛媛) 松井英一郎 (岐阜) 赤澤宇之助 (鹿兒島)  
 秋吉英三 (東京)  
 菊地 崇 (茨城)  
 白藤芳夫 (東京)  
 關 菊麿 (京都)  
 佐藤長次郎 (埼玉)



明治四十三年三月第十二回專修科修了生 (十人) (いろは順)

市川保一 (東京)	脇川文近 (長崎)	矢部力雄 (群馬)	宮崎太郎 (東京)
今井健彦 (静岡)	内藤繁治 (東京)	山田萬助 (東京)	
秩父固太郎 (東京)	中村米壽 (長野)	小池二郎 (東京)	

明治四十四年三月第十三回專修科修了生 (十人) (成績順)

長谷部 巖 (岐阜)	太田資事 (茨城)	杉山喜平 (大阪)	岡松象雄 (大分)
片桐 靖 (新潟)	竹内源次郎 (福岡)	加藤建次郎 (愛知)	
島田一 郎 (埼玉)	中村三藏 (香川)	今井仁平 (兵庫)	

明治四十五年三月第十四回專修科修了生 (六人) (成績順)

荒井 恰 (愛知)	吉田壽三郎 (熊本)	櫻庭 巖 (青森)	
濱中直樹 (静岡)	牧野謙太郎 (愛知)	門馬福之進 (福島)	

大正二年三月第十五回專修科修了生 (十二人) (成績順)

菊地篤三 (千葉)	中 川 宮 (神奈川)	林 林之介 (東京)	兒玉豪雄 (廣島)
小山清次 (東京)	内田松三郎 (愛知)	原田三平 (山口)	石田 力 (東京)
志摩 英 (神奈川)	山寺吉之助 (千葉)	奥山 巖 (大阪)	時田傳左衛門 (埼玉)

大正三年第十六回專修科修了生 (四人) (成績順)

貴志正雄 (和歌山)	高橋 弘 (東京)	坪倉俊之助 (群馬)	長江信之助 (栃木)
------------	-----------	------------	------------

大正九年三月第十七回專修科修了生 (六人) (ABC順)

藤澤的一 (大分)	守谷武文 (東京)	敷納兵治 (富山)	
金森良介 (愛知)	篠原 利 (山梨)	竹村虎之助 (東京)	

大正十年三月第十八回專修科修了者 (七人) (ABC順)

飯田隆治 (東京)	黒岩 幸男 (群馬)	佐藤昇衛 (新潟)	田代己代次 (東京)
小山 豊 (東京)	松浦珪三 (長崎)	田中 豊 (愛知)	

大正十一年三月第十九回專修科修了者 (九人) (ABC順)

藤井啓二 (富山)	中原仁平 (鳥取)	鈴木榮助 (東京)	
北川參治 (岐阜)	大出確造 (栃木)	田村誠意 (東京)	
橋川昌吉 (神奈川)	大森常勝 (愛媛)	鳥居利三郎 (京都)	

大正十二年三月第二十五回專修科修了者 (十名) (ABC順)

遠藤正武 (東京)	稻垣茂雄 (滋賀)	西久保孝愛 (東京)	小野寺榮助 (東京)
日比谷 武之助 (東京)	久保勝春 (福岡)	乃 萬 徹 (愛媛)	大塚 輔 (廣島)
堀田四郎 (京都)	松本信次 (東京)		

朝鮮語學科

(舊稱韓語學科)

明治四十四年一月改稱

明治三十四年七月第一回別科修了生

(一人)

井上安次郎 (京都)

明治三十九年七月第二回專修科(別科改稱)修了生

(五人)

(いろは順)

岡本楢之助 (東京)

村木

漁 (三重)

杉原惣太郎 (福島)

七邊格太郎 (岡山)

比佐祐次郎 (秋田)

明治四十年三月第三回專修科修了生

(一人)

新納賢司 (東京)

明治四十一年三月第四回專修科修了生

(二人)

(いろは順)

西村獅子雄 (岐阜)

宮崎道雄 (三重)

明治四十二年三月第五回專修科修了生

(二人)

(いろは順)

大谷任功 (福島)

三宅知之 (東京)

明治四十三年三月第六回專修科修了生

(四人)

(いろは順)

多田 闇 (鳥取)

田村京吉 (岩手)

有山謙藏 (埼玉)

三好春雄 (東京)

明治四十四年三月第七回專修科修了生

(二人)

(成績順)

青木正春 (山口)

大橋 矩 (東京)

明治四十五年三月第八回專修科修了生

(三人)

(成績順)

藤田 勇 (鹿兒島)

南 文 止 (大分)

山根藤七 (鳥根)

速成科修了生 (成績順)

伊語部

大正十一年三月第一回修了者 (十二名)

(ABC順)

平谷順三 (三重)  
池野寅三 (東京)  
神原泰 (東京)

杵淵勇 (長野)  
小島齋志 (愛媛)  
高興濂 (朝鮮)

增井芳男 (静岡)  
長野時雄 (滋賀)  
大野信三 (東京)

田代己代次 (東京)  
荻森直喜 (東京)  
渡邊紳一郎 (鳥取)

西語學科

大正三年三月第一回修了生

(五人)

大須勝 (東京)  
中西毅 (北海道)

徳原寛一 (徳島)  
犬伏康平 (徳島)

岩淵繁樹 (東京)

大正四年三月第二回修了生

(九人)

山田鐵彦 (大阪)  
加畑伊輔 (京都)  
久保田昇 (長崎)

菊地治三郎 (愛媛)  
門林安郎 (大阪)  
服部定雄 (三重)

本多次郎 (三重)  
鈴木亨三 (三重)  
野田茂一郎 (熊本)

大正五年三月第三回修了生

(九人)

十川成一 (山口)  
濱崎龜太郎 (東京)  
松平繁 (東京)

種畑正己 (東京)  
渡部登 (島根)  
有地了三 (廣島)

黒石元次 (山口)  
姫井昇一 (岡山)  
中島直己 (東京)

支那語學科

大正三年三月第一回修了生

(九人)

戸川健三 (大阪)  
伊藤時雄 (長野)  
荒井敏郎 (徳島)

山口勝也 (神奈川)  
塚越島十郎 (群馬)  
渡邊紀平 (新潟)

大久保喜重治 (巖手)  
千阪保臣 (東京)  
岡野庄藏 (東京)

大正四年三月第二回修了生

(八人)

渡邊哲 (茨城)  
小玉英一 (愛知)  
豊島五六 (東京)

河相衍 (朝鮮)  
尹亮求 (朝鮮)  
木下淺吉 (佐賀)

土井豊 (愛媛)  
下川末市 (長崎)

大正五年三月第三回修了生

(十三人)

米村滿男 (熊本)  
衛藤忠雄 (大分)  
雨宮正雄 (愛知)  
森忠雄 (愛知)

廣瀬主殿 (山梨)  
犬丸鐵太郎 (東京)  
水坂貞雄 (愛知)  
森脇忠敏 (埼玉)

長島五三郎 (兵庫)  
恒川泰次 (奈良)  
多田慶明 (愛媛)  
木原文弼 (滋賀)

鈴木晟太郎 (栃木)

大正六年三月第四回修了生

(十四人)

田邊桑三郎 (島根)  
柏木葉 (兵庫)  
寺村豐次郎 (滋賀)  
徳久虎之助 (佐賀)

菱沼文二 (宮城)  
今關達也 (千葉)  
板倉與三郎 (熊本)  
平井清 (宮城)

村江汎之 (鳥取)  
竹中京太郎 (東京)  
青木金之助 (東京)  
大倉明三郎 (東京)

平野賢吉 (千葉)  
川尻忠 (秋田)

大正七年三月第五回修了生

(九人)

池田佐久馬 (長崎)  
石山陽三 (埼玉)  
中川敬治 (京都)

成島武入 (茨城)  
松山悦次郎 (愛知)  
大和田藤馬 (福島)

清島重徳 (東京)  
柳澤五郎 (長野)  
伊部唯一 (福井)

朝鮮語學科

大正三年三月第一回修了生 (五人)

副島壽人 (長崎) 鬼塚隆藏 (東京) 小瀬村龜三 (神奈川)

高瀬由己 (大分) 山本元次郎 (千葉)

大正十一年三月第二回修了生 (二人) (ABC順)

平井良雄 (香川) 中村又一 (佐賀)

蒙古語部

大正十一年三月第一回修了者 (一人)

渡邊卯一郎 (新潟)

馬來語部

大正十一年三月第一回修了者 (五人) (ABC順)

府川辰造 (神奈川) 塩川峻一 (長野) 牛島國光 (東京)

沼邊武 (東京) 武田幸太郎 (岡山)

ヒンドスタニー語部

大正十一年三月第一回修了者 (二人)

間野一喜 (石川)

馬來語部

大正十二年三月第二回修了者 (五名) (ABC順)

阿部勇 (山形) 青木元次郎 (滋賀) 武田豊穰 (廣島)

蘆澤輝男 (岡山)

田代己代次 (東京)

ヒンドスタニー語部

大正十二年三月第二回修了者 (三名) (ABC順)

大西英一 (兵庫) 尾崎貫一郎 (埼玉) 宰務正一郎 (東京)

朝鮮語部

大正十二年三月第三回修了者 (一名)

横江清兵衛 (滋賀)



明治四十年三月速成科修業生

明治三十九年三月設置同四十年三月廢止  
修業年限一ケ年  
授業時數一週二十二時間

露語學科

(十九人)

(いろは順)

渡邊源四郎 (石川)  
程田藤吉 (東京)  
戸川末三 (東京)  
竹室卯造 (兵庫)  
宗文江 (東京)

根岸伊七 (群馬)  
奥山光茂 (鹿兒島)  
押見寅之助 (東京)  
山口甲子男 (静岡)  
保田宗治郎 (神奈川)

福井敬藏 (東京)  
高範中 (清國)  
厚美清太郎 (德島)  
秋草愛一 (群馬)  
湯淺誠作 (群馬)

皆川太郎 (山口)  
三浦安兵衛 (愛知)  
鹽田彌惣入 (滋賀)  
茂木德音 (長野)

清語學科

(二十九人)

(いろは順)

岩本正木 (長野)  
林善一 (東京)  
西山章二 (福島)  
細川久 (岩手)  
土井芳輔 (山口)  
川谷宮太郎 (高知)  
立花慶應 (福岡)  
高山好 (新潟)

辰川實 (愛媛)  
竹中信以 (東京)  
塚原守重 (山梨)  
長竹元吉 (千葉)  
中村春之助 (神奈川)  
中村惠延 (埼玉)  
矢野繁之丞 (岩手)  
松岡龍吉 (岐阜)

松田知禮 (愛媛)  
松浦捨吉 (和歌山)  
藤岡藤市 (德島)  
舟津勝三 (東京)  
江口是三郎 (佐賀)  
新井慶太郎 (埼玉)  
秋元雄治 (群馬)  
酒井恒記 (愛媛)

岸田國太郎 (京都)  
澁谷兵八 (岐阜)  
清水清次 (山形)  
鈴木一良 (東京)  
鈴木榮之丞 (長野)

韓語學科

(十四人)

(いろは順)

池田傳次 (秋田)  
石川竹三郎 (埼玉)  
田中德太郎 (青森)  
中澤鐵太郎 (東京)

野澤寛一 (新潟)  
興津健夫 (東京)  
黒羽資明 (茨城)  
山中忠太 (三重)

松岡末廣 (媛媛)  
足助嘉一郎 (長野)  
北山清 (茨城)  
宮崎侃 (東京)

島谷直方 (富山)  
墨豪兒 (愛知)

東洋語速成科修業生 (明治四十二年四月設置同四十四年三月廢止)

馬來語學科

明治四十二年三月第一回修業生

(十六人) (いろは順)

飯塚重一 (埼玉)  
林虎太 (香川)  
小野良吉 (大分)  
荻島良三 (埼玉)

加藤治躬 (静岡)  
笠村思敬 (栃木)  
田中興平 (長野)  
中村庄太郎 (福井)

中島懋一 (東京)  
宇野耕雲 (東京)  
野口邨彦 (北海道)  
久保田善一 (茨城)

松井秀三 (鳥取)  
松信春之助 (茨城)  
近藤正二 (東京)  
寺尾熊次 (北海道)

×岩室哲次郎 (廣島)

秋保俊治 (宮城)

(二人) (いろは順)

森田三郎 (東京)

板垣龍三 (山形)

(四人) (成績順)

木全省 吾 (愛知)  
山道儀三郎 (群馬)

ヒンドスターニ語學科

明治四十二年三月第一回修業生

(十二人) (いろは順)

稻見憲吉 (栃木)

小栗明 (岐阜)

金村貞太郎 (東京)

鷹屋祐攝 (宮山)

武關久壽 (栃木)  
土屋政次郎 (岡山)

上田孝三 (三重)  
鶴飼仙之助 (岐阜)

大澤友吉 (千葉)  
山室廉吉 (宮崎)

赤羽宇重 (長野)  
阿滿得壽 (京都)

石山善壽 (栃木)

野口一三郎 (新潟)

(二人) (いろは順)

明治四十四年三月第三回修業生

(五人) (成績順)

豐田忠太郎 (石川)  
渥味 盤 (静岡)

神崎友吉 (栃木)  
江尻正一 (茨城)

横山金三郎 (滋賀)

タミル語學科

明治四十二年三月第一回修業生

(四人) (いろは順)

田中俊三 (和歌山)

柳田光之助 (東京)

秋元善藏 (青森)

三宅正 (愛媛)

明治四十三年三月第二回修業生

(二人) (いろは順)

和田逸三 (兵庫)

渥味 盤 (静岡)

蒙古語學科

明治四十二年三月第一回修業生

(六人) (いろは順)

石山福治 (新潟)

西田興左衛門 (東京)

吉田順三 (東京)

中島友次郎 (群馬)

藤森 勇 (長野) 三 俣 二 郎 (群馬)

明治四十三年三月第二回修業生

(三人) (いろは順)

高橋 安親 (新潟) 高 田 治 作 (北海道)

猪 狩 重 光 (北海道)

明治四十四年三月第三回修業生

(七人) (成績順)

神谷 衡平 (東京) 笠井清三郎 (三重)

宮 島 鹿 雄 (佐賀) 大 地 亮 平 (千葉)

淺 野 睦 (東京) 脇 川 文 近 (長崎)

片 野 孝 三 (福島)

東京音樂學校委託伊語特別科修了生

修業年限二ヶ年 授業時數一週六時間

大正三年三月修了生

松 島 肇 (東京)

東京府委託支那語特別科修業生

修業年限二ヶ年 授業時數一週六時間

大正七年七月修業生

(十八人)

(成績順)

天野 源一 (静岡) 矢野 重弘 (北海道) 椿 祥次 (熊本) 日下 次郎 (東京) 原 西 季 雄 (東京)

松本 篤太郎 (東京) 安藤 義照 (東京) 漆 畑 五 郎 (静岡) 中 山 武 (広島) 杉 浦 銚 一 (愛知)

原 義一 良 (東京) 増 田 達 雄 (滋賀) 神 保 文 一 (東京) 萩 谷 直 (茨城) 堀 井 芳 三 郎 (京都)

宮 城 富 朗 (東京) 松 平 勇 (愛知) 藤 野 周 太 郎 (大阪)

第五臨時教員養成所卒業生

明治三十五年四月設置同三十九年三月廢止 英語科、修業年限二ヶ年

明治三十七年三月第一回卒業生

(二十六人)

(いろは順)

伊語特別科修了生 支那語特別科修業生 教員養成所卒業生

泉本覺一耶 (奈良)	岡村邦雄 (三重)	梅谷興一 (埼玉)	坂部和三郎 (愛知)
池田朝長 (東京)	小野襄 (青森)	國枝昇 (熊本)	木下芳雄 (東京)
芳賀重治耶 (宮城)	川瀬兼治 (山形)	×八十與一 (兵庫)	森 麗 (大分)
橋村惠五耶 (高知)	金井半三耶 (群馬)	山田孝太郎 (茨城)	×鈴木 康 (栃木)
二瓶兵二 (福島)	高橋良一 (岩手)	山本市太郎 (島根)	關 怡 (鹿兒島)
越智國一 (愛媛)	並河良孝 (島根)	小林 光 (東京)	鈴木 康 (栃木)
小川政之助 (香川)	向高良夫 (宮崎)	江副秀喜 (熊本)	
傍士瀧治 (高知)	田子富彦 (鳥取)	眞方友二 (宮崎)	清水 勇 (愛媛)
西村昂三 (島根)	瀧崎保 (長野)	福元一二 (鹿兒島)	平岩元吉 (愛知)
×堀尾柳市 (島根)	名原廣三耶 (島根)	×五島退藏 (徳島)	須藤參治 (岩手)
本郷良喜治 (宮城)	仲本吉一耶 (沖繩)	今元 鶴 (青森)	鈴木龜壽 (東京)
富永置三 (東京)	夏原由三耶 (滋賀)	赤井知洗 (奈良)	
小田四郎 (宮崎)	大下 盛 (香川)	佐藤國彦 (福島)	
加藤治躬 (静岡)	山木甚輔 (山口)	宮田峰一 (廣島)	

明治三十九年三月第二回卒業生

(二十五人) (いろは順)

英語部

(大正八年マデハ英語學校ト稱ス以上之ニ準ズ)

英語部

入學志願者	入學者	卒業者	入學志願者	入學者	修了者	年 度
二八	二八	一〇	七四	四四	二二	明治三十年
九一	一七	一〇	一九六	四二	二九	三十二年
一一〇	三六	一〇	一九七	四四	二九	三十三年
一四四	二八	一〇	一八五	五五	一六	三十四年
一八九	二九	一〇	一五六	六二	一九	三十五年
一八五	三〇	一〇	一八七	六四	一九	三十六年
一一一	三〇	一〇	一九七	六六	一九	三十七年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	三十八年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	三十九年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	四十年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	四十一年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	四十二年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	四十三年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	四十四年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	四十五年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正二年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正三年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正四年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正五年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正六年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正七年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正八年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正九年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正十年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正十一年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正十二年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正十三年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正十四年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正十五年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正十六年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正十七年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正十八年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正十九年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正二十年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正二十一年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正二十二年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正二十三年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正二十四年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正二十五年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正二十六年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正二十七年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正二十八年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正二十九年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正三十年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正三十一年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正三十二年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正三十三年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正三十四年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正三十五年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正三十六年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正三十七年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正三十八年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正三十九年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正四十年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正四十一年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正四十二年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正四十三年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正四十四年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正四十五年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正四十六年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正四十七年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正四十八年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正四十九年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正五十年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正五十一年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正五十二年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正五十三年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正五十四年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正五十五年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正五十六年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正五十七年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正五十八年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正五十九年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正六十年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正六十一年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正六十二年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正六十三年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正六十四年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正六十五年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正六十六年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正六十七年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正六十八年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正六十九年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正七十年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正七十一年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正七十二年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正七十三年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正七十四年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正七十五年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正七十六年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正七十七年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正七十八年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正七十九年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正八十年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正八十一年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正八十二年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正八十三年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正八十四年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正八十五年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正八十六年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正八十七年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正八十八年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正八十九年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正九十年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正九十一年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正九十二年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正九十三年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正九十四年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正九十五年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正九十六年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正九十七年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正九十八年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正九十九年
一一一	三〇	一〇	一八五	六四	一九	大正一百年

獨語部

入學志願者	二八	六三	七二	四二	四三	五三	六一	七三	四一	四一	五五	四八	三五	五五	五五	九五
入學者	二八	一六	一四	二四	二九	三〇	三〇	三〇	三〇	三一	三一	三〇	二四	三三	二八	二四
卒業者	二〇	一七	二四	二五	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二八	二八	二六	一七	一六
入學志願者	七一	六九	五〇	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七
入學者	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七
修了者	三〇	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二
年	明治三十年	三十二年	三十三年	三十四年	三十五年	三十六年	三十七年	三十八年	三十九年	四十年	四十一年	四十二年	四十三年	四十四年	四十五年	大正二年

二八五

獨語部

入學志願者	一九六	二四〇	一五三	一七五	一〇八	一九七	一六九	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三	一五三
入學者	二八	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一
卒業者	二〇	一七	二四	二五	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二八	二八	二六	一七	一六
入學志願者	五一	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七
入學者	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七
修了者	一三	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
年	大正六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	十一年	十年	九年	八年	七年	六年	五年	四年	三年

佛語部

入學志願者	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四
入學者	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
卒業者	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
入學志願者	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一
入學者	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一
修了者	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
年	明治三十年	三十二年	三十三年	三十四年	三十五年	三十六年	三十七年	三十八年	三十九年	四十年	四十一年	四十二年	四十三年	四十四年	四十五年	大正二年

二八四









支那語部

入學志願者 (內第一志) 一二 (內第二志) 一六	入學者 一二	卒業者 一〇	入學志願者 一〇	入學者 一〇	卒業者 一〇	入學志願者 三	入學者 二	修了者 三	年 度
									明治四十四年
									大正二年
									同三年
									同五年

暹羅語部

入學志願者 (內第一志) 一二 (內第二志) 一〇	入學者 一二	卒業者 一〇	入學志願者 一〇	入學者 一〇	卒業者 一〇	入學志願者 三	入學者 二	修了者 三	年 度
									明治四十四年
									大正二年
									同三年
									同五年

馬來語部

入學志願者 (內第一志) 一九 (內第二志) 三五	入學者 一七	卒業者 一四	入學志願者 一四	入學者 一四	卒業者 一四	入學志願者 三	入學者 二	修了者 三	年 度
									明治四十四年
									大正二年

ヒンドスタニー語部

入學志願者 (內第一志) 六三 (內第二志) 七六	入學者 一一	卒業者 一〇	入學志願者 一〇	入學者 一〇	卒業者 一〇	入學志願者 三	入學者 二	修了者 三	年 度
									大正三年
									同四年
									同五年
									同六年
									同七年
									同八年
									同九年
									同十年
									同十一年
									同十二年

入學志願者 (內第一志) 七 (內第二志) 一一 (內第三志) 四九	入學者 六	卒業者 四	入學志願者 三	入學者 二	修了者 三	年 度
						明治四十四年
						大正二年
						同三年
						同四年
						同五年
						同六年
						同七年
						同八年
						同九年
						同十年
						同十一年
						同十二年

朝鮮語部

\*印ヲ附シタルハ速成科入學志願者並ニ修了者ナリ

本 科	入學志願者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	入學者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
專 修 科	入學志願者	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
	入學者	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
速 成 科	入學志願者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	入學者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
修了者		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
年 度		明治三十二年	三十一年	三十年	二十九年	二十八年	二十七年	二十六年	二十五年	二十四年	二十三年	二十二年	二十一年	二十年	十九年	十八年	十七年	十六年	十五年	十四年	十三年	十二年	十一年

第二十五學年(大正十二年度)概況

一、教官官 (\*印ハ重出シタルモノ)

英	佛	獨	露	伊	西	葡	支	那	古	蒙	馬來	印度	南洋	身	學	育	教	地	經	商	法	哲	言	國	種	民	政	策	種	民	地	情	務	農	業	易	貿	操					
一	二		一	八																																							
講	教	外	授	助	教																																						
師	師	國	教	教																																							

二、本科卒業者選科修了者同修業者及專修科修了者

本	修	選	修	修	選	修	速	了	計	英	佛	獨	露	伊	西	葡	支	那	古	蒙	馬來	印度	南洋	身	學	育	教	地	經	商	法	哲	言	國	種	民	政	策	種	民	地	情	務	農	業	易	貿	操							
業	了	了	了	了	了	了	了	了	計	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	語	
者	者	者	者	者	者	者	者	者	計	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	
科	科	科	科	科	科	科	科	科	計	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文
二	二	三	三	三	三	三	三	三	計	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
五	五	五	五	五	五	五	五	五	計	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	
九	九	九	九	九	九	九	九	九	計	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
六	六	六	六	六	六	六	六	六	計	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	
八	八	八	八	八	八	八	八	八	計	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

第二十五學年(大正十二年度)概況

三、生徒現員

(大正十二年七月三十日調)

部	年			合計
	第三年	第二年	第一年	
英語部	15	16	14	45
佛語部	11	12	10	33
獨語部	13	14	12	39
露語部	12	13	11	36
伊語部	10	11	9	30
西語部	14	15	13	42
葡語部	11	12	10	33
支那語部	13	14	12	39
蒙古語部	11	12	10	33
馬來語部	12	13	11	36
來語部	10	11	9	30
ヒンディー語部	11	12	10	33
計	121	131	111	363

部	選科	拓殖科	貿易科	文科	合計
英語部	15		27	24	66
佛語部	16		23	23	62
獨語部	14		21	21	56
露語部	16		19	19	54
伊語部	15		17	17	49
西語部	14	3	15	15	47
葡語部	13	3	13	13	42
支那語部	11	3	11	11	36
蒙古語部	12	3	12	12	39
馬來語部	10	3	10	10	33
來語部	11	3	11	11	36
ヒンディー語部	10	3	10	10	33
計	121	10	136	121	368

一 東京外國語學校校友會規則

第一章 名稱及目的

第一條 本會ハ東京外國語學校校友會ト稱ス

第二條 本會ハ會員ノ交誼ヲ厚フシ心身ヲ鍛鍊シ且校風ヲ振作スルヲ以テ目的トス

第二章 會員

第三條 本會ハ左ノ會員ヲ以テ組織ス

一、正會員

一、特別會員

一、贊助會員

一、名譽會員

第四條 本校本科生及ビ選科生ハ正會員タルベキモノトス

第五條 本校職員ヲ特別會員トス

第六條 本校卒業生ヲ贊助會員トス

第七條 本校ニ縁故アリ本會ノ目的ヲ賛成スル者ヲ會長ノ推薦ニヨリテ名譽會員トス

第三章 部門

第八條 本會ニ左ノ六部ヲ置ク

- 第一部 武術部
- 第二部 陸上運動部
- 第三部 水上運動部
- 第四部 文藝部
- 第五部 辯論部
- 第六部 語學大會

第四章 役員

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

但必要ノ場合ニハ臨時委員ヲ置ク事ヲ得

- |    |   |     |       |
|----|---|-----|-------|
| 會長 | 一名  | 副會長 | 一名    |
| 部長 | 六名  | 評議員 | 十五名以内 |
| 幹事 | 三十六名<br><small>(内譯 第一部四名、第二部四名、第三部九名、第四部六名、第五部五名、第六部八名)</small> | 委員  | 各級一名  |
| 主計 | 一名  | 錄事  | 一名    |

第十條 會長ハ東京外國語學校長之ニ當ル

- 第十一條 會長ハ本會一切ノ事務ヲ總理ス
- 第十二條 副會長ハ特別會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス
- 第十三條 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ニ代ル
- 第十四條 部長ハ委員會ニ於テ特別會員中ヨリ選舉シ會長之ヲ囑託ス
- 第十五條 部長ハ各部ノ事務ヲ掌理ス
- 第十六條 評議員ハ特別會員及贊助會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス
- 第十七條 評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ本會ノ重要ナル事項ヲ審議ス
- 第十八條 幹事ハ委員會ニ於テ正會員中ヨリ選舉シ會長之ヲ任命ス
- 第十九條 幹事ハ部長ヲ輔ケテ各部ノ事務ヲ處理ス
- 第二十條 委員ハ各級ヨリ一名ヲ互選シ本會一切ノ事項ヲ評決ス
- 第二十一條 主計ハ本校ノ會計課員中ヨリ會長之ヲ囑託シ本會一切ノ出納ヲ掌ル
- 第二十二條 錄事ハ本校事務員中ヨリ會長之ヲ囑託シ本會ノ記録ヲ掌ル
- 第二十三條 本會役員ノ任期ハ滿一ケ年トス

但毎年四月ヲ以テ任期ノ始トス

第二十四條 各役員會ハ役員ノ半数以上ノ出席者アルニアラサレバ成立セザルモノトス

### 第五章 役員會

第二十五條 役員會ヲ分チテ評議員會、部長會、幹事會及委員會トス

第二十六條 各役員會ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

### 第六章 會計

第二十七條 本會會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス

第二十八條 次年度ノ豫算ハ毎年二月各部幹事之ヲ編成シ部長會ノ査定ヲ經テ委員會ノ議ニ附シ會長ノ認

可ヲ經テ決定ス

第二十九條 正會員ハ入會金金貳圓及會費年額金拾圓ヲ納ムベシ

但入會金ハ入學ノ際ニ之ヲ納メ内金壹圓ヲ基本金トス會費ハ三回ニ分チ第一學期金五圓第二學期金參

圓第三學期金貳圓ヲ授業料ト同時ニ納ムベシ

第三十條 特別會員ハ毎月俸給月額五十分ノ一(外國人ハ二百分ノ一)ヲ寄附ス

第三十一條 名譽會員及贊助會員ハ會費ヲ納ムル事ヲ要セズ

第三十二條 本會ノ決算ハ毎年六月末日迄ニ委員會ニ報告シ其承認ヲ受クベシ

### 第七章 基本金

第三十三條 本會ハ其基礎ヲ鞏固ニシ事業ノ發達ヲ圖ランガ爲ニ基本金ヲ蓄積ス

第三十四條 本會基本金ハ特定收入ヲ以テ之ニ充ツ

第三十五條 基本金ハ之ヲ通常經費ニ流用スルヲ得ズ

但利子ハ當分ノ内基本金ニ繰入ル、モノトス

第三十六條 有志者ヨリノ寄附ハ會長ノ承認ヲ經テ受納シ之ヲ基本金中ニ繰入ル

### 第八章 規則改正

第三十七條 本會規則ハ委員會ノ決議ニヨリ會長ノ認可ヲ經テ改正スル事ヲ得

(附則) 本規則ハ大正七年九月十一日ヨリ全部施行ス

大正十年六月末日改正

## 二 東京外國語學校同窓會規則

### 名稱

第一條 本會ハ東京外國語學校同窓會ト稱ス

### 目的

第二條 本會ハ堅實ナル學風ノ樹立ト同窓ノ親睦ヲ厚フスルヲ以テ目的トス

### 會員

第三條 本會々員ハ分チテ正會員名譽會員ノ二種トス

第四條 東京外國語學校本科出身者ハ人會ノ手續ニ依ラズシテ正會員タルモノトス

但其他ノ出身者及嘗テ本校ニ在學セシモノハ希望ニヨリ正會員タルコトヲ得

第五條 東京外國語學校在職ノ教職員及關係者ヲ名譽會員トス

### 役員

第六條 本會ニ幹事及委員ヲ置ク

第七條 委員ハ總會ニ於テ各語學科毎ニ五名以内ヲ選出ス

第八條 幹事ハ十二名トシ委員ノ互選ニヨリ之ヲ定ム

第九條 幹事委員ノ任期ハ各二ケ年トス

第十條 幹事ハ會務一切ヲ處理ス

第十一條 委員ハ幹事ヲ補佐シ會務ニ當ル

### 會計

第十二條 正會員ハ毎年會費トシテ金壹圓ヲ納付スルモノトス

但一時金拾五圓也ヲ納付シタル者ハ爾後ノ會費ヲ要セズ

第十三條 資金ハ本會直接ノ業務ニ要スルモノ、外一切支出スルコトヲ得ズ

第十四條 資金支出殘額ハ年々決算ノ上基本金ニ編入ス

第十五條 會計年度ハ毎年九月一日ヨリ翌年八月末日迄トス

第十六條 本會々計報告ハ總會ニ於テ之レヲ行フ

第十七條 本會ノ基礎ヲ確實ナラシムル爲メ基本金制度ヲ設ク

第十八條 基本金ハ銀行ニ預入レ幹事之レヲ保管ス

### 會合

第十九條 本會總會ハ毎年十月之レヲ開ク

但役員會ニ於テ必要ト認ムルトキハ臨時總會ヲ開クコトヲ得

第二十條 幹事ハ毎月一回會合シテ事務ヲ處理ス

第二十一條 委員ハ隔月一回會合シテ會務ヲ議決ス

但必要ニ應ジ臨時之ヲ開クコトヲ得

會 務

第二十二條 本會ハ會報及會員名簿ヲ毎年一回會員ニ配布ス

第二十三條 本會々員ニシテ異動シタルトキハ直チニ本部宛ニテ通知スル義務アルモノトス

規則變更

第二十四條 本會々則ノ變更ハ總會ノ際出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス

支 部

第二十五條 各地ニ支部ヲ置ク

但支部規則ハ各地ニテ本則ニ準ジ適宜之レヲ定ム

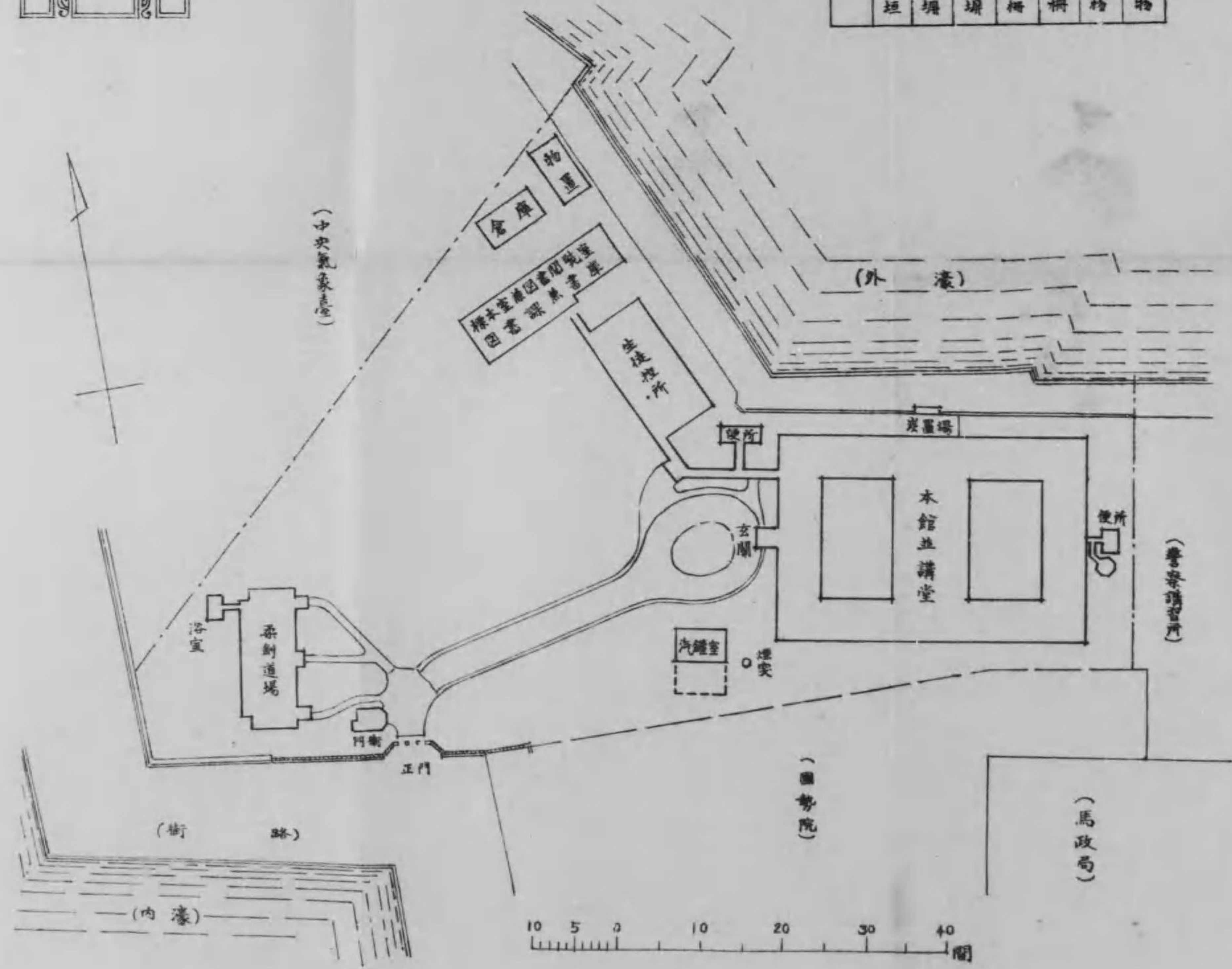
附 則

第二十六條 本會ノ目的ヲ達センガ爲メ隨時諸種ノ機關ヲ設クルコトヲ得

東京外國語學校  
建物配置圖  
縮尺千二百分の一

凡 例

漆	石垣	石塙	煉鋼網	木柵	豫定建物	建物



建物坪數表

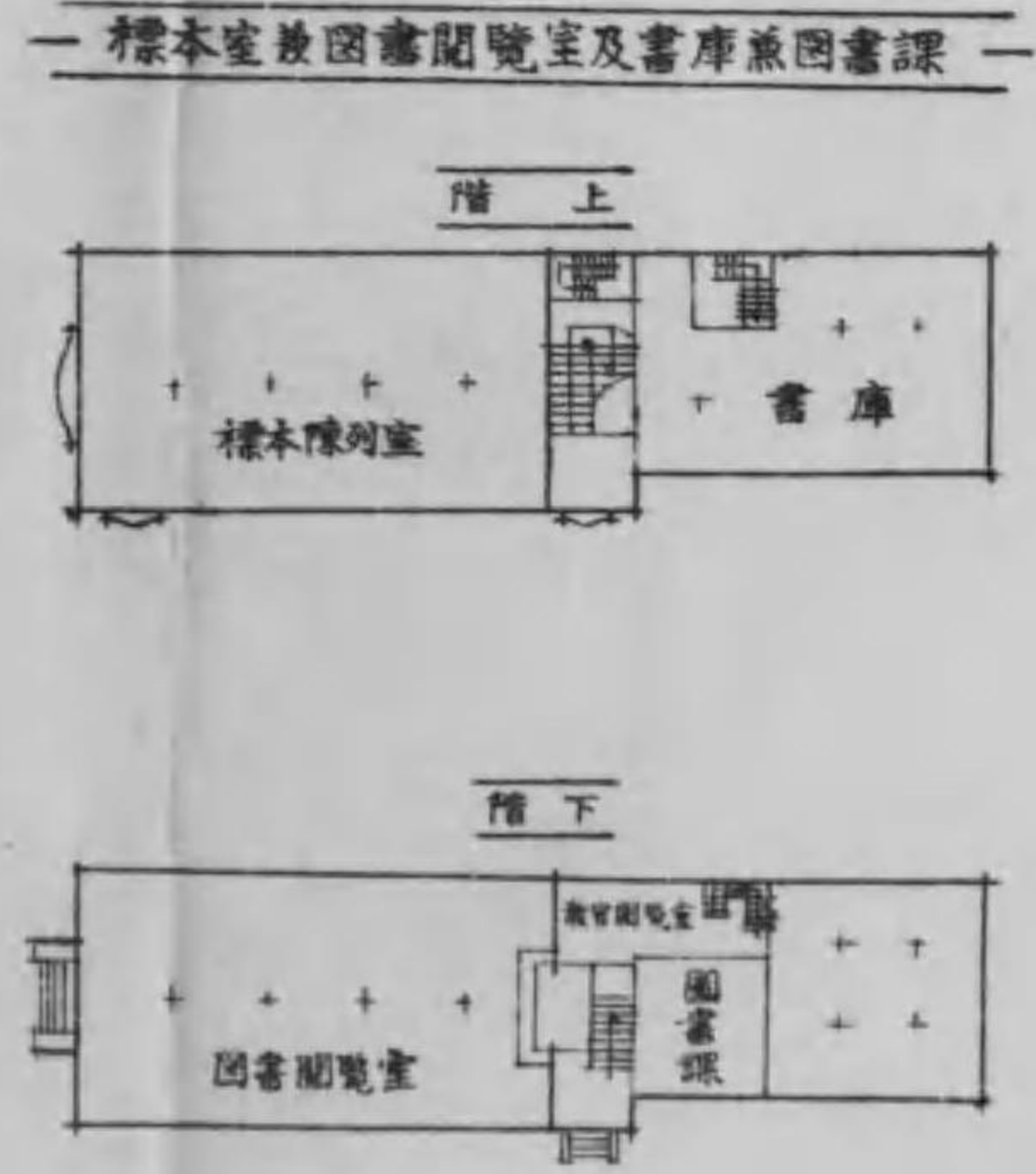
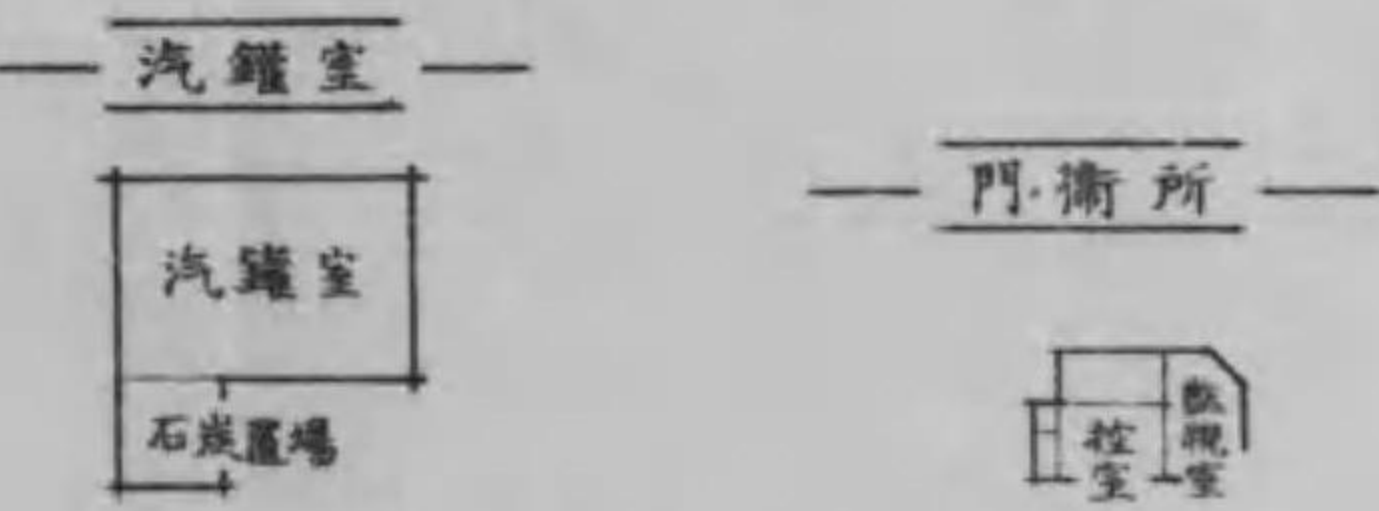
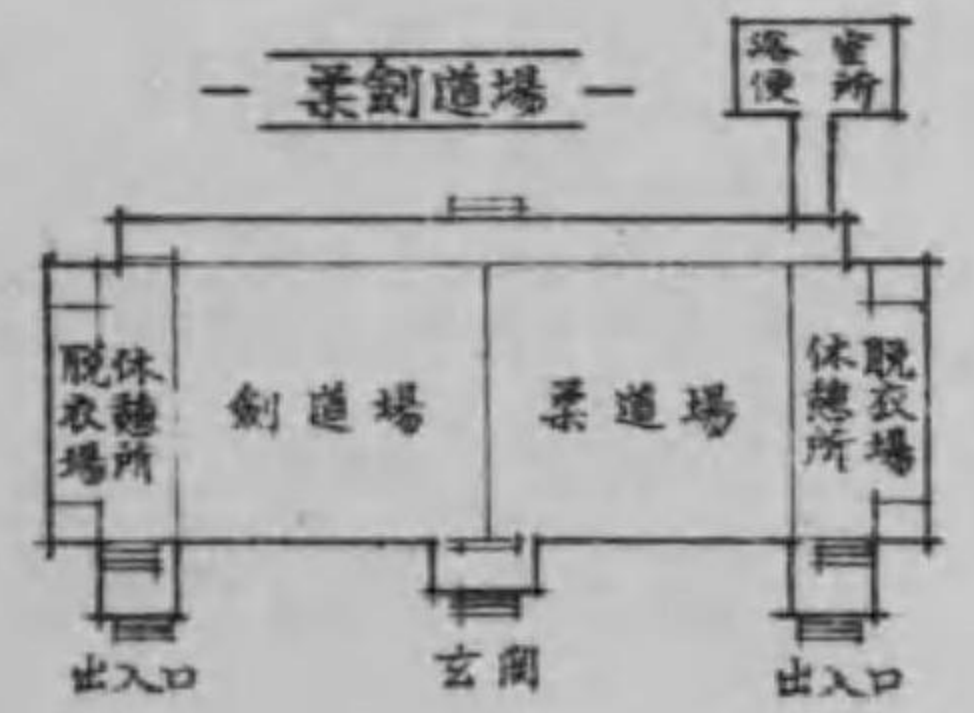
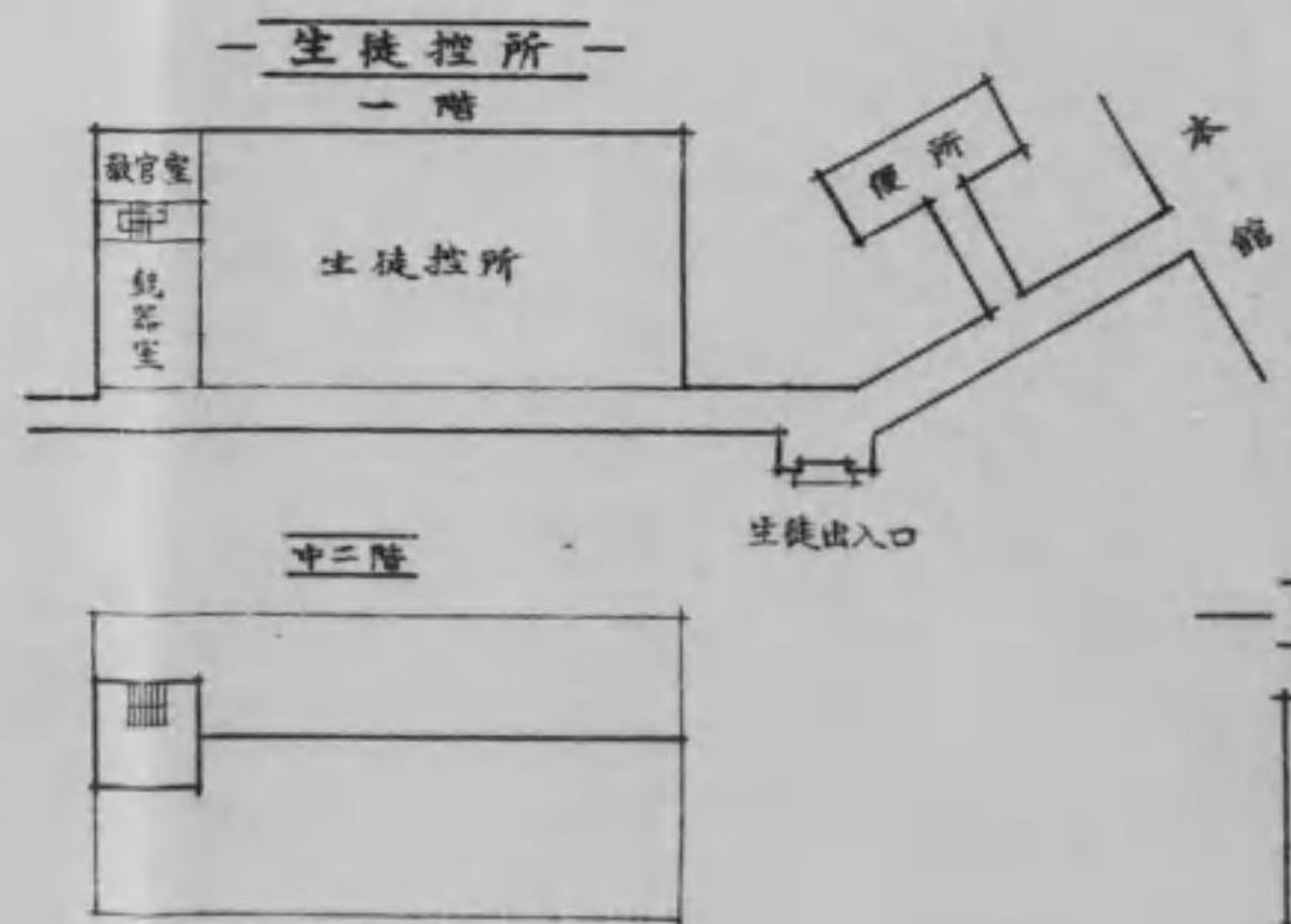
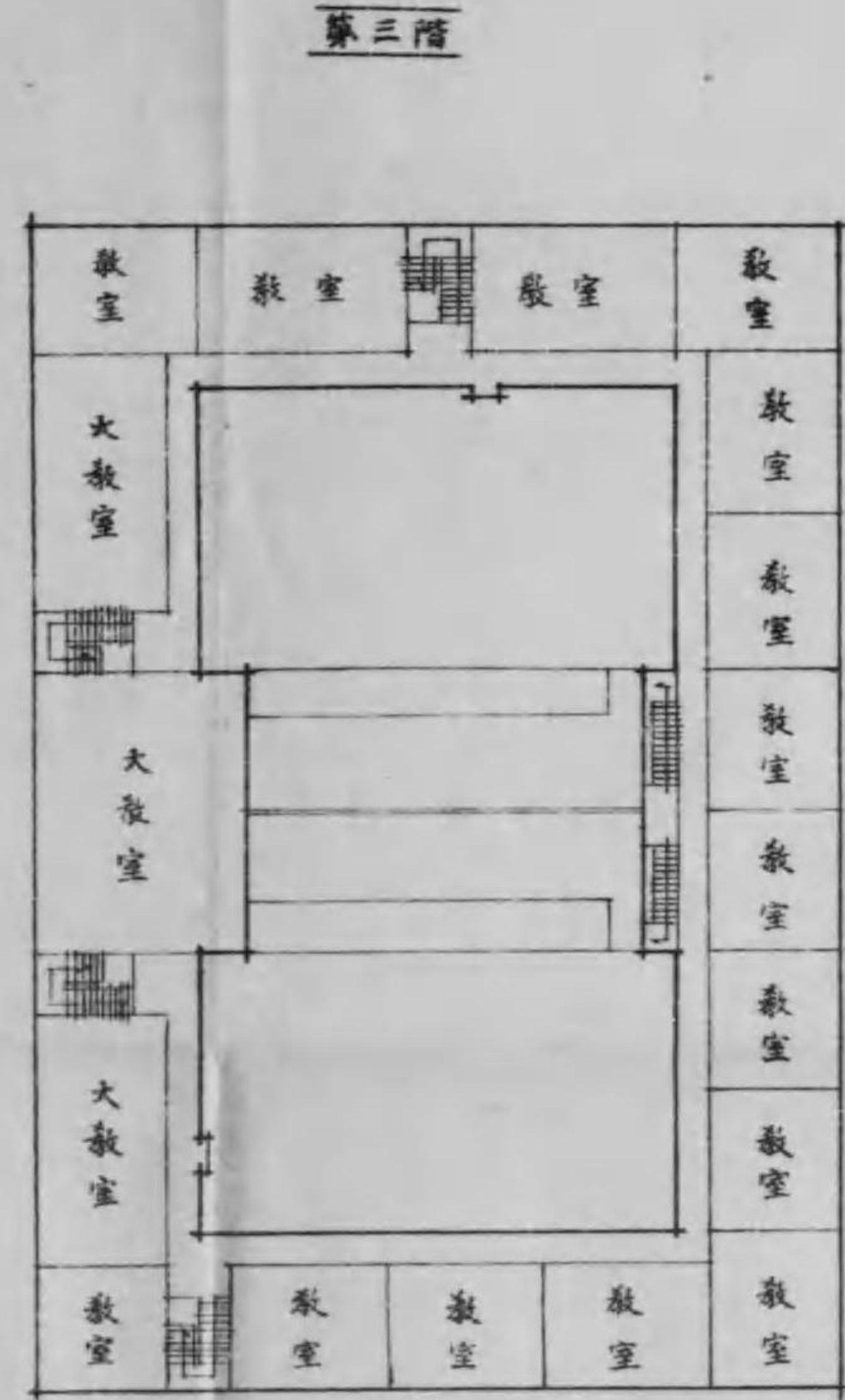
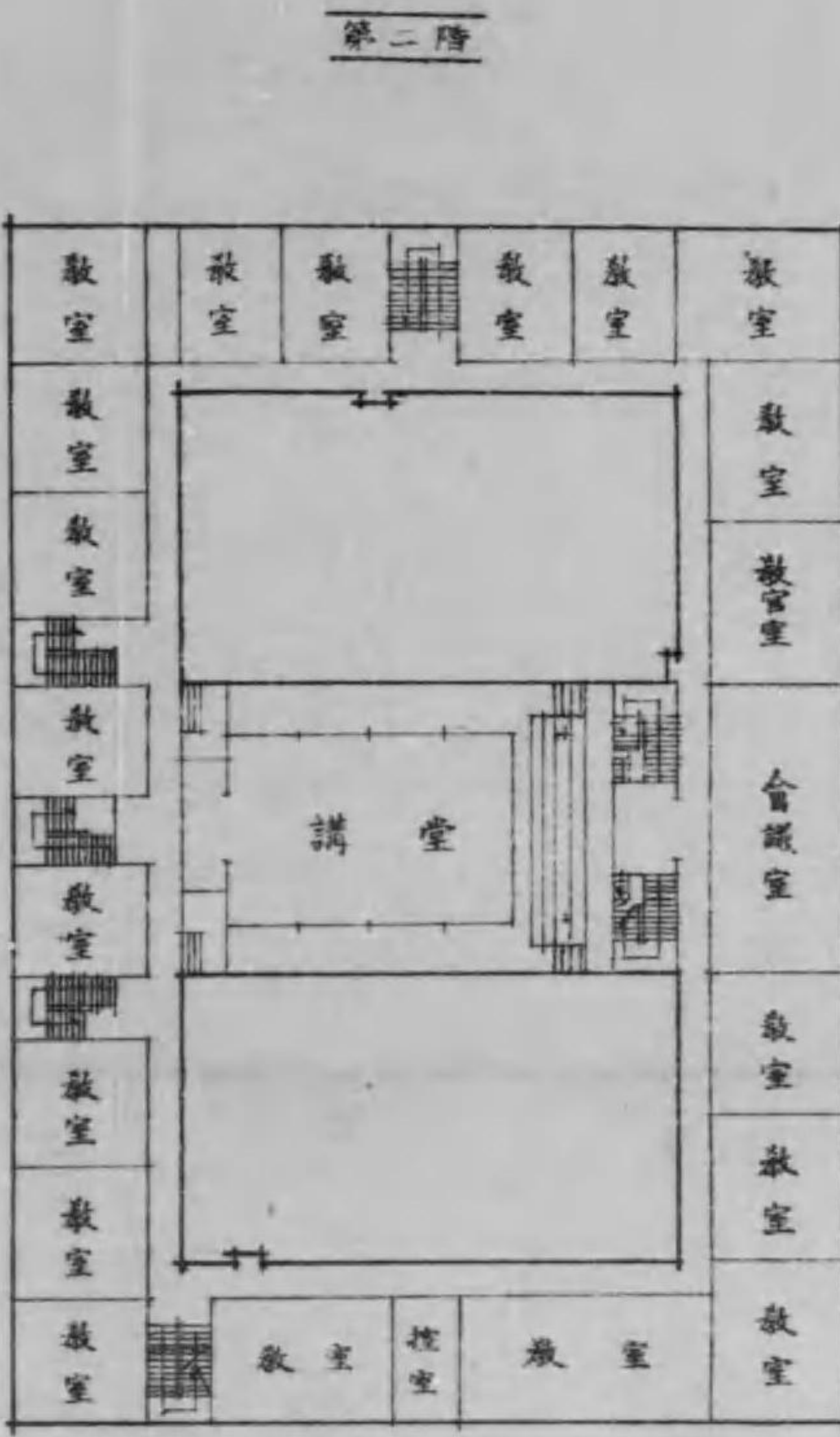
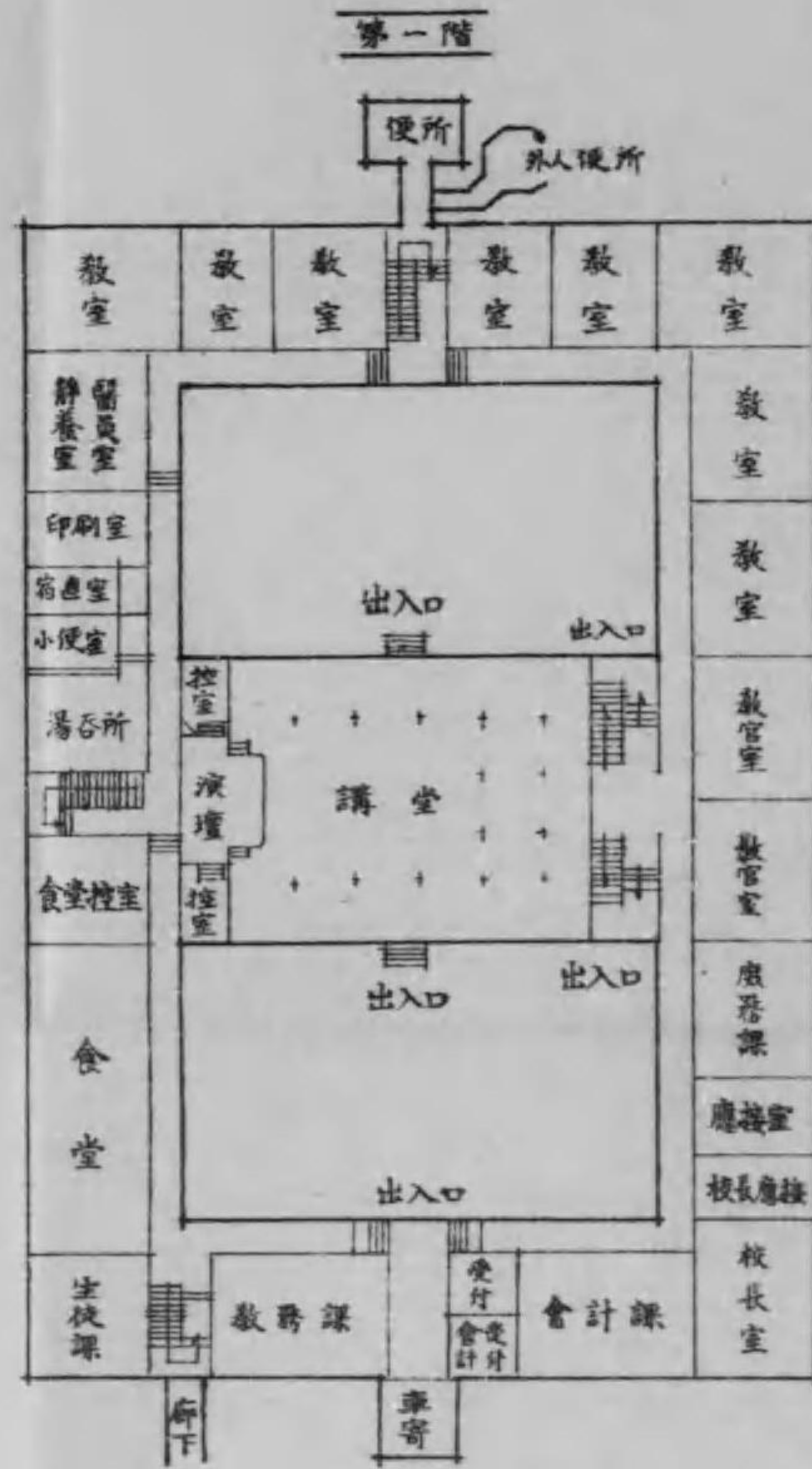
名 稱	種 類	坪 數	延坪數	
本 館	木造瓦葺	第一階	677.500	1,903.000
		第二階	671.250	
		第三階	554.250	
生徒控所	木造スレート葺	第一階	112.000	121.750
		中二階	9.750	
柔剣道場	木造スレート葺	柔剣道場	112.500	120.000
		浴場及便所	6.000	
		渡廊下	1.500	
圖書部	鉄筋コンクリート構造	階上	119.562	230.124
		階下	119.562	
倉 庫	鐵筋コンクリート構造	階上	30.000	60.000
		階下	30.000	
物 置	木造瓦葺		30.000	30.000
汽罐室	木造スレート葺	汽罐室	24.000	28.000
		石炭置場	4.000	
門衛所	木造天然スレート葺	8.743	8.743	
便 所	木造瓦葺	外人用便所	2.800	18.800
		東便所	6.000	
		西便所	10.000	
渡廊下	木造瓦葺	幅 7.5 尺	39.477	49.452
		幅 6.0 尺	7.375	
		幅 4.7 尺	2.600	
炭置場		2.500	2.500	
建物總延坪數			2,581.369	
建物總建坪數			1,196.557	
敷地坪數			8,303.135	

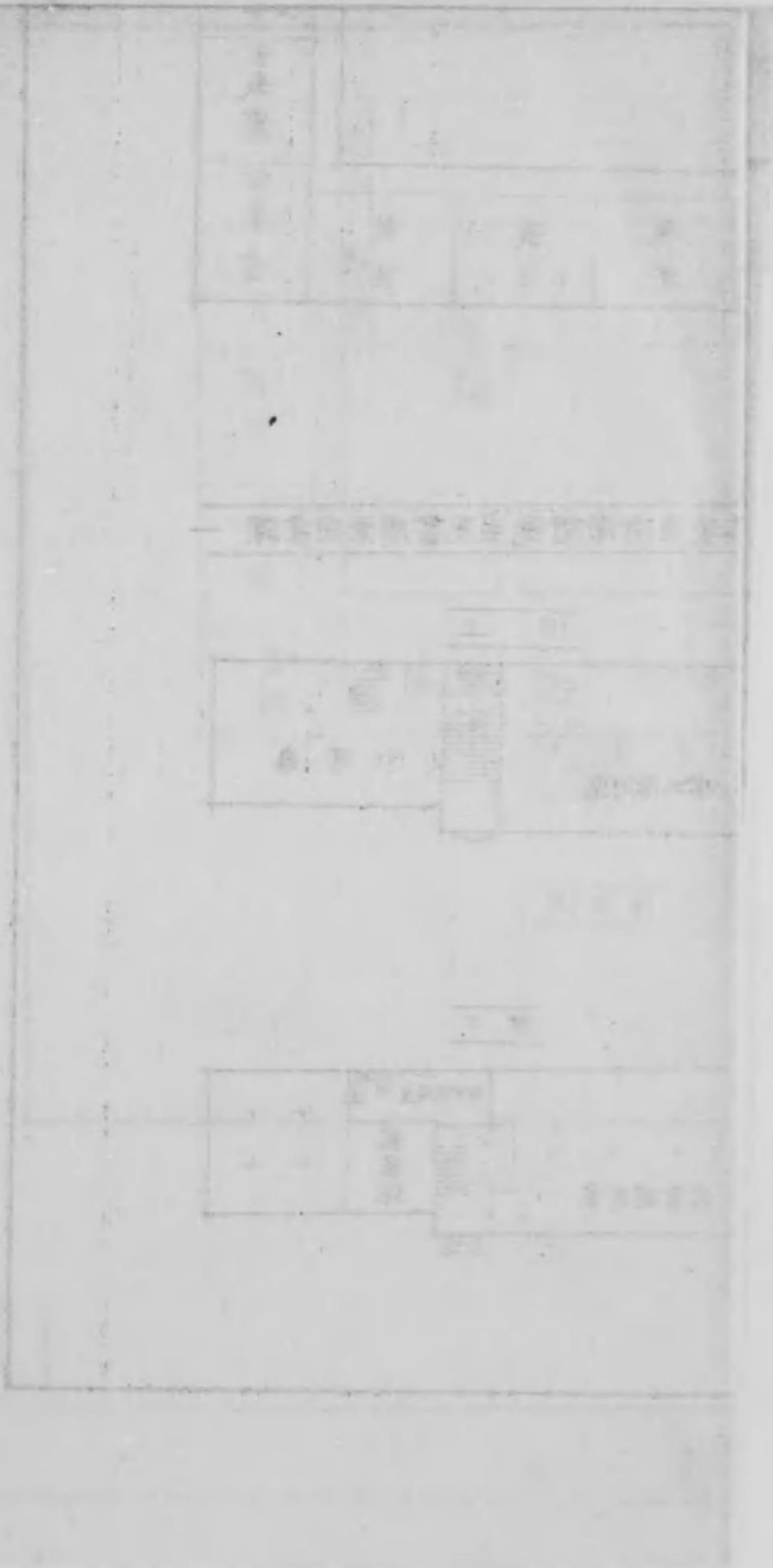




東京外國語學校  
縮尺六百分の一  
建物配置圖

— 本館 —





附記

本會事務所ハ東京外國語學校内ニ置ク

基本金制度

- 一、本會規則第十七條ニ依リ基本金制度ヲ設ク
- 二、基本金ハ本會々員及其ノ他有志者ヨリ募集ス
- 三、基本金ノ寄附ハ一口金五圓也トス  
但一人二口以上申込ムコトヲ得
- 四、基本金ノ寄附ハ一時拂込ミトス  
但二ヶ年四回ニ分チ拂込ムモ妨ゲ無シ

2935  
/

293  
別庫 5  
1

終

